

# 令和6年度 事業報告



社会福祉  
法人

長野市社会福祉協議会

## 目次

I 総 評	1
II 主要事業の実績と評価	3
III 附属明細書（事業実績等資料）	33

### I 総 評

人口減少や少子高齢化、生活様式の多様化やコロナ禍の影響により、地域のつながりがより希薄化し、社会的孤独・孤立が深刻な問題となっている。また物価高による生活困窮も問題となっており、令和6年度も「誰もが支え合いながら安心して暮らす」ことの推進を使命とする本会の必要性を実感する時期となった。

法人全体の広報活動においては、視覚障害のある方などにも配慮したホームページに改良したほか、Facebookによる介護サービスセンターの活動PR、LINEによるボランティアセンター取組の周知などSNSを活用した広報活動を継続して行い、紙媒体のチラシ等も発行するなど多様な媒体による広報活動を展開した。

総務課では、受託団体事務については関係機関・団体と連携し取組を推進した。特に日赤活動資金や共同募金については、それぞれの推進主体である日本赤十字社長野市地区および長野市共同募金委員会において各事業の趣旨を広く共有し、関係者の合意形成や意識醸成を丁寧におこなった。

地域福祉課では、「地域にあるヒト・モノ・コトがつながる・つなげる・つくる」という視点から、「地域と社会福祉法人の連携を考える」をテーマにセミナーを初めて開催し、社会福祉法人が地域づくりに参加する意義や必要性、そして地域との連携の在り方について学んだ。

地域福祉活動の推進については、地域福祉ワーカーとの連携を図るための個別訪問を初めて実施したほか、住民自治協議会との懇談会の実施や地区地域福祉活動計画策定への支援を通じて、各地域特有の地域福祉課題解決に向けて取り組んだ。さらに、「地域たすけあい事業」については、利用ニーズの増加に対する協力会員の不足、住民自治協議会が負担する福祉移送車両の経費の増大といった課題に対して、実施地区の住民自治協議会と個別に協議し、利用料金の改定や広報活動の充実等を図っていくことを方針として確認した。

ボランティア活動の推進については、各地区住民自治協議会と連携したボランティア養成講座を行い、地域におけるボランティアの養成・育成を行うとともに、地区ボランティアセンターの状況把握を行った。また、夏のボランティア活動体験プログラムサマーチャレンジボランティアでの若年層のボランティア活動の推進、ボランティア活動の情報を共有するボランティアのつどいの実施によるボランティア活動の活性化を図った。

事務局の組織再編により新たに設置した相談支援課では、判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う暮らしのあんしんサービス事業に新たに短期的並びに緊急的事務管理サービスを加え、サービスの充実を図った。

市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、「おひとりさま」あんしんサポート相談事業を推進し、各関係機関と協力し策定した「長野市における身寄りのない方への支援のためのガイドライン」の地域への浸透・活用に取り組んだ。また、長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”においても物価高騰の影響により現に生活に困窮する世帯や新型コロナウイルス特例貸付の借受人、ひきこもり等様々な生活課題を抱える世帯からの相談が増加するなかで、支援関係機関とのネットワークづくりや相談者に寄り添いながら支援を行うアウトリーチ型の支援体制の充実を図った。

長野市で「長野市重層的支援体制整備事業実施計画」が策定されたことに伴い令和6年度から重層的支援体制整備事業が実施され、本会においても事業受託者として複雑化・複合化した支援ニーズに対応すべく、本市における重層的、包括的な支援体制の構築に向け多職種連携による「チーム支援」が円滑に行えるよう幅広く相談を受付けし必要なコーディネートを行うとともに、困難事例については「重層的支援会議」や「支援会議」を活用し支援関係機関と協議を行いながら個別の支援プランを作成するなど支援体制の充実を図った。併せて、既存の社会資源とのつながりにより対象者の社会参加に向けた支援を行うとともに、支援関係機関とのネットワークの中で必要な支援につながっていない対象者の把握、信頼関係の構築を目的とした伴走型支援を実施した。

介護サービス課では、今年度介護報酬改定での訪問介護事業報酬の引き下げや新型コロナウイルス感染症等の広がりによる休業や利用者の利用控え、中山間地域での人口減少が続く中での稼働率低下等の影響により収入が減少した。一方で光熱水費等の継続的な物価高騰や最低賃金の上昇等による人件費の増加もあり、経営状況が悪化した。これを受けて、経営改善に向け中長期にわたる経営改善を検討し、着手した。

事業所における取組では、利用者の自立支援・重度化防止のため、各事業所の機能訓練の充実を図るとともに、エコバッグ作成や買い物かごの掃除、近隣のごみ拾いなど社会参加活動を継続して実施した。

また、新たに長野市の「子育て世帯訪問支援事業」を受託してヤングケアラーに対しての支援を行うとともに、研修等の機会を活用してヤングケアラー等多様な課題に対しての職員の見識を深めた。

職員の働く環境づくりとして、高齢者や外国人等の多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、新たに技能実習生2名を受入れや、介護助手の採用を進めた。また、年間計画に基づき、エルダーメンター制度を導入し、新人職員の育成に力を入れるとともに、積極的に外部の研修会に参加するなど、個々の職員の資質・能力向上に努めた。

## Ⅱ 主要事業の実績と評価

### ○説明

- ・それぞれ所属（担当）ごとに、実施する事業や主要取組とその概要を一覧とした。
- ・「重点」：各所属における重点目標に関する事業や取組に、●印を記載した。
- ・「新規等」：事業や取組が「新規」、（事業規模の）「拡大」「縮小」のいずれかに該当する場合は記載した。
- ・「種別」：自主事業（補助事業を含む）以外の「受託」「指定管理」「他法人が行う事業への参画（県社協事業など）」の場合は、その内容を記載した。
- ・「総合計画」：それぞれの事業・取組が、第三次総合計画における4つの基本目標のうち、主にごとの視点をもって事業・取組を行うのかを示した。（複数選択あり）

#### 【第三次総合計画の基本目標】

相：一人ひとりの思い・困りごとを受け止める、誰もとりこぼさない相談支援

連：地域生活課題の解決に向けて、つながり、つなぎ、結ぶパートナーシップ

参：お互いさまの心をもって、多様な在り方を認め合える参加支援

サ：地域で安心していきいきと暮らし続けられる、地域と一緒に支える活動・サービスの提供

### 1 法人全体で行うこと

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	会務の運営				意思決定や事業執行を行う理事会と議決機関である評議員会を中心に、社会福祉法に基づいた組織として会務を運営する。
				相 連 参 サ	
(2)	第三次総合計画の推進				4つの基本目標に沿ってそれぞれの事業や取組を推進するとともに、計画に掲げた評価指標ごとの進捗状況を確認し、計画の中間評価を行う。
	●			相 連 参 サ	
(3)	広報・広聴活動				広報誌「ふくしながの」やホームページ、各種SNSなどを積極的に活用し、人材確保につなげることを含め、本会の活動を広く周知する。
				相 連 参 サ	
(4)	人材育成（研修の実施・参加）				社協職員としての基本的な資質を高めるため、また各事業における専門性を高めるため、全体研修の実施や専門的研修へ参加する。 人材育成と各個人の意欲向上のため、社協内・職場内研修などの充実を図る。
				相 連 参 サ	
(5)	災害想定訓練				災害対応マニュアルや災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行う。また、各事業所における地域内の災害想定訓練を行い、災害に対する適応力の高い組織を目指す。
	●			連	
(6)	県内社協職員災害初動時派遣チーム（DSAT）への参加				令和6年能登半島地震の被災地支援にあたっては、社協の役割である災害ボランティアの調整に加え、福祉介護の専門職として県社協等と連携し被災地社協や住民を支援する。 複数人で対応できるように、新規要員の育成を進める。研修会等への参加を促す。
	●		県社協事業	連	

事業実績	資料 頁・No	評価
理事会 5回開催（第3回は決議の省略） 評議員会 3回開催（第2回は決議の省略） 正副会長会 1回開催 評議員選任・解任委員会 1回開催	P33 資料①	会務の運営は、理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事の指導及び監査により執行の適正を期した。
使命を達成するために掲げた4つの基本目標に沿って、それぞれの事業や取組を推進した。 また、評価指標を基に中間評価を行い、35項目の評価指標のうち4割が目標を上回った。		総合計画の基本目標に沿って、それぞれの事業・取組を推進することができた。
法人全体の広報誌「ふくしながの」を発行し、全戸配布を行った。 第83号10月1日発行 発行部数158,737部 第84号4月1日発行 発行部数159,089部 広報誌「ふくしながの」の音声版データをホームページに掲示し、視覚障害のある方などにも内容をご理解頂けるよう努めた。 Facebookによる介護サービスセンターの活動PR、LINEによるボランティア活動の周知などSNSを活用した広報活動を積極的に行ったほか、各事業で紙媒体によるチラシやパンフレットも発行した。		視覚障害のある方などにも配慮をした広報活動を行うことができた。 多様な媒体による広報活動を展開することができた。
各所属、担当において職員の資質や専門性向上のための研修を実施または参加した。	P35 資料②	各所属、担当において必要な研修を実施したり参加することで業務の専門性を高めることができたが、全職員を対象とした研修の実施はできなかった。
自衛消防訓練に併せ、事務局職員を対象として「大地震発生時の対応」について座学研修を行った。 実施日：5月25日（木）参加者約35名		職員の防災や災害対応に関する意識付けができており、今後も継続したい。
県社協の主導するDSATのメンバーとして、運営委員会や各種会議に参加した。	P40 資料③	DSAT運営委員として、設置要綱の見直し協議など県社協の取組に協力できた。

## 2 総務課（総務担当）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	長野市社会福祉大会の開催				住民の福祉活動に関する意識向上と啓発を目指し、長野市社会福祉大会を開催する。 第70回大会にあたり、長野市芸術館で記念講演を開催し、記念誌も作成する。
	●			連 参	
(2)	ふれあい福祉センター管理経営事業				市有施設の指定管理者として、地域福祉・ボランティア活動拠点であるふれあい福祉センターの管理経営を行う。
			指定管理	参 サ	
(3)	寄附・賛助会費の募集				個人・団体等からの寄付金品及び賛助会員の募集、受け入れ手続き等を行う。
				連 参	
(4)	ふれあい福祉基金の運営				福祉需要の増大及び多様化に対応した事業の推進を図るために設置した本基金の運用及び管理を行う。
				サ	
(5)	ボランティア活動振興基金の運営				自主的で継続的なボランティア活動の振興を図るために設置した本基金の運用及び管理を行う。
				サ	
(6)	社会福祉功労者等の顕彰				長野市社会福祉大会において、社会福祉に功労があった個人・団体を表彰する。
				参	
(7)	職員の労働環境の整備				より働きがいのある職場をめざし、労働条件や待遇の維持向上に努める。
				サ	

## 3 総務課（団体担当）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	社会を明るくする運動推進事業				罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための啓発活動等を、住民自治協議会の協力により実施する。
				連 サ	
(2)	災害見舞金事業				災害による住宅罹災・死亡及び事故による死亡に対して、長野県共同募金会、日本赤十字社長野県支部及び当会の3者による見舞金品の給付を行う。
				相 連 サ	
(3)	長野市民生委員児童委員協議会への支援				長野市民生委員児童委員協議会の事務局を受託し、37地区（法定単位）民生委員児童委員協議会の連携・活動推進及び情報交換を図るとともに関係機関・団体等との連絡調整を行う。
			団体受託	相 連 参 サ	
(4)	日赤活動資金募集事業				日本赤十字社法に基づき設置された日本赤十字社の長野県支部長野市地区の事務局として、支援者募集及び活動資金収納を行う。
	●		団体受託	連 参 サ	

事業実績	資料 頁・No	評価
「みんなが笑顔で暮らせるために 心豊かなつながりづくり」を大会テーマとして、8月28日に長野市芸術館において第70回長野市社会福祉大会を開催した。また、年度内に大会70周年記念誌を刊行した。	P41 資料⑤	会場での記念パネル展示もを行い、来場者から好評をいただいた。
市民の福祉活動の拠点として、またボランティア活動の中核施設として数多くの団体やボランティアグループに利用をいただいた。 市の主導によりエレベータの全撤去改修を行った。	P42 資料⑥	建設から30年を迎えるにあたり、老朽化に伴う設備改修について市と協議が必要。
1 寄付の募集 寄付件数 44件 (R5 49件) 現金受付 13,848,781円 (R5 12,242,091円) 物品受付 565,000円 (R5 1,333,300円) ※物品受付は金額換算 合計 14,413,781円 (R5 13,575,391円) 2 賛助会費の募集 賛助会員数3名 賛助会費20,000円	P42 資料⑦	遺贈による大口寄附を1件いただき、前年を超える実績を上げることができた。 事務処理については滞りなく実施した。
利息分積立 140,408円 寄附分積立 7,126,089円 取り崩し額 8,629,434円 ふれあい福祉基金期末残高 164,453,025円		基金の運用を適切に行った。
利息収入 1,553,786円 ボランティア活動振興基金期末残高 313,191,053円 金利状況を注視し、金利の上昇した時期に地方債の購入を行うことができた。		基金の運用を適切に行った。
8月28日に開催した第70回長野市社会福祉大会において、以下の方々に表彰状、感謝状を贈呈した。 社会福祉功労者 31人 (R5 12人) 優良住民自治協議会等 2団体 (R5 2団体) 社会福祉事業協助者 26件 (R5 27件)		地域によって差はあるものの、表彰を受けることを励みに活動を続けているという声もあることから、一定の成果を上げている。
テレワーク勤務要綱を策定した。(令和7年4月施行)		育児介護等を行う職員の柔軟な働き方を推進することができた。

事業実績	資料 頁・No	評価
各地区の取組に対し補助金を交付した。 R6実績 351,042円 (23地区) [参考] R5実績 355,800円 (23地区) 強化月間 7月1日～31日	P44 資料⑨	各地区で積極的に取組を実施した。
住宅罹災 8件 160,000円 事故死等 6件 120,000円 計14件 280,000円 (R5 18件 370,000円) ※県共同募金会及び日赤長野県支部と併せて給付	P46 資料⑩	地区からの申請に基づき迅速な対応を行った。
理事会7回、地区会長会6回、役員合同会議1回 広報誌「民児協ながの」3回発行 2月14日(金)全体研修会を実施(746名参加)		役員体制の変更等があったが、概ね予定通り各事業を実施できた。
全体会1回、協賛委員会役員会2回、事務担当者会議1回開催 R6実績額 42,183,137円 目標額 54,018,000円(達成率 78.1%) [参考] R5実績 44,111,081円 強調月間 5月	P46 資料⑪	5月の強調月間を前に、各地区関係者への事業趣旨の周知を丁寧に行い、各世帯への協力を呼び掛けることができたが、目標達成率は78.1%に留まった。

(5)	共同募金運動協力事業				社会福祉法に基づき長野県共同募金会が実施する寄付金の募集において、長野県共同募金会長野市共同募金委員会の事務局として事業に協力する。
	●			連 参 参	
(6)	共同募金配分金事業				長野県共同募金会より配分された配分金を活用した事業を行う。
	●			相 連 参 参	
(7)	長野市遺族会への支援				長野市遺族会の事務局を受託し、会への支援を行う。
			団体受託	相 連 参 参	
(8)	長野市手をつなぐ育成会への支援				長野市手をつなぐ育成会の事務局を受託し、会への支援を行う。
			団体受託	相 連 参 参	
(9)	長野市赤十字奉仕団への支援				長野市赤十字奉仕団の事務局を受託し、会への支援を行う。
			団体受託	相 連 参 参	
(10)	長野地区保護司会への支援				長野地区保護司会の事務局を受託し、会への支援を行う。
			団体受託	相 連 参 参	
(11)	長野地区更生保護女性会への支援				長野地区更生保護女性会の事務局を受託し、会への支援を行う。
			団体受託	相 連 参 参	

#### 4 地域福祉課（地域福祉担当）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	住民自治協議会と協働による福祉のまちづくり				<p>職員の担当する地区を決めて関わることで、各地区のニーズに関する調査・研究からニーズに即した支援を行うほか、住民自治協議会と協働で事業の企画・立案に携わる。また、地区地域福祉活動計画の見直し及び進捗管理の支援を行う。</p> <p>なお、住民自治協議会役員との顔の見える関係を構築し、地区課題を共有する中で、具体的な支援を行うため地区訪問を行う。</p>
	●			相 連 参	

<p>運営委員会は2回、全体会・事務担当者会議は各1回開催。街頭募金(36か所)、学校募金(35校)を実施  R5実績額 49,103,719円  目標額 52,629,000円(達成率 93.3%)  [参考] R5実績 50,475,309円  募金運動期間:10月~3月</p>	P46 資料⑫	<p>戸別募金は依然として減少傾向にあるが、法人募金、学校募金は比較的堅調であった。また、街頭募金やイベント募金等も実施できた。</p>
<p>R5共同募金実績に基づき、R6実施事業に配分した。  [配分額及び内訳]  R6配分額(原資:R5募金) 26,439,309円  内訳:市社協へ(団体への助成等に活用)20,309,396円  住自協へ(目標超過分として交付)6,129,913円</p>	P46 資料⑬	<p>住民自治協議会や福祉団体等が実施する事業への二次助成を中心に、有効に配分を行った。</p>
<p>正副会長会6回、理事会1回、理事評議員会1回、地区会長会3回、女性部正副部長会2回、女性部役員総会1回開催  長野市戦没者追悼式への協力  8月8日 長野市芸術館</p>		<p>会員の高齢化が進んでいるが、定例の会議等も概ね開催することができた。</p>
<p>ブロック長会議・ブロック長支部長会議・役員会議 月1回開催  学習会3回開催(6月12日、8月24日、2月21日)  希望の旅 6月22日 国営アルプスあずみの公園  療育キャンプの開催 10月5日~6日 聖高原  親なきあと相談室の開催  機関紙「いいづな通信」発行</p>		<p>学習会や希望の旅、療育キャンプ等予定通り実施できた。お互いの悩みや課題を共有し、共感したり課題解決の糸口を見つける機会となった。</p>
<p>正副委員長会8回、委員会5回開催  市社協フードドライブへの協力(12分団)  善光寺清掃奉仕 7月30日(19分団)  視察研修 11月9日 川上村赤十字奉仕団</p>		<p>コロナ禍以降、市全体での活動、各分団での活動が戻りつつある。フードドライブへの協力や善光寺清掃等、各分団の積極的な協力により実施できた。</p>
<p>正副会長会3回、理事会7回開催  全体研修会2回開催(5月10日、2月10日)  社会を明るくする運動への協力  協力組織との連携  機関紙「いいづな」2回発行</p>		<p>事務局とサポートセンターとの連携を密にし、各種事業を概ね予定どおり実施できた。</p>
<p>理事会3回、会長会4回、三役会9回開催  全体研修会2回開催(4月23日、1月20日)  社会を明るくする運動への協力  機関紙「さくら草」6回発行</p>		<p>会議・研修等も概ね予定通り開催することができた。</p>

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>1 職員の派遣による地域支援  派遣件数 430件(R5:445件)  内訳 福祉計画 38件(R5:7件)  検討会 84件(R5:87件)  福祉推進員 82件(R5:57件)  たすけあい事業の再編 25件(R5:35件)  その他 201件(R5:259件)</p> <p>2 地域福祉活動計画の策定(見直し)への支援  9地区(第二、古牧、三輪、浅川、大豆島、長沼、更北、信更、中条)</p> <p>3 地区訪問による支援  11地区(R5:12地区)  地区との顔の見える関係づくりや地区の課題の吸い上げ等のために実施</p>		<p>地区地域福祉活動計画の見直し等の地区を中心に前年度並みに支援を行うことができた。</p>

(2)	福祉のまちづくりを進めるための実践事業	<p>住民自治協議会が行う福祉活動（福祉移送、サロン、子育て支援等）に対して、課題や活動の種別に即して共同募金等を財源に経費の助成を行う。</p> <p>また、地区の独自課題の解決に向けた動きに対しても助成することで、その地区独自の課題解決に即した支援を行う。</p>
		連 参
(3)	住民自治協議会福祉関係部会への支援	<p>住民自治協議会福祉関係部会への支援のため、各地区の役員を対象に情報交換を行い、各地区の状況や取組の共有を行う。</p> <p>また、事務担当者会議を開催し、本会の支援内容についての伝達を行う。</p>
		相 連 参
(4)	地域福祉ワーカー連絡調整会議等の開催	<p>地域福祉を推進する担い手として各地区に配置されている地域福祉ワーカーの活動への助言などを行うとともに、地域福祉ワーカーが主体となって自らの学びたい内容を深められるよう、支援を行う。</p>
	● 拡大	相 連 参 サ
(5)	地域たすけあい事業の実施及び再編検討	<p>高齢者、障害者等に対して、地域住民の協力を得て有償による家事援助及び福祉移送サービスを行う事業。また、地区と連携を図る中で、必要に応じて事業の再編を検討する。</p>
	●	相 連 参 サ
(6)	福祉推進員への支援	<p>住民自治協議会が設置する福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割等の基礎的事項について活動事例などを通して学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、それぞれの活動を共有し、参考にできるよう活動発表の模造紙の作成や掲載内容の共有を行う。</p>
		連 参
(7)	信州暮らしの支え合いネットワークへの協力、参加	<p>県内の住民参加型有償在宅福祉サービスを行っている団体により組織されている連合会（長野県社会福祉協議会が事務局）へ協力・参加する。</p>
	他法人事業への参加	連 参

<p>申請額 21,324,500円 (R5:22,416,000円)          交付額 18,496,851円 (R5:17,607,764円)</p>	<p>P47 資料⑭</p>	<p>地域が、これまで以上に自主性を発揮した「福祉を視点にしたまちづくり」を進めていくことができるよう住民自治協議会の意見を取り入れながら助成事業の見直しを行った。</p>
<p>1 住自協福祉関係部会担当者会議          開催：5月8日(水)          場所：ふれあい福祉センター          内容：本会関係の必須及び選択事務事業の事務手続き等についての説明</p> <p>2 地域福祉推進ネットワーク会議          (1) 日時：2月19日(水)          場所：柳原交流センター          参加者：58人(会場参加31人、Zoom参加27人)          内容：          「地域と社会福祉法人の連携を考える」をテーマに講演及びパネルディスカッションを実施</p>		<p>計画通り実施することができた。</p>
<p>長野市福祉政策課主催の会議に、地域包括ケア推進課とともに企画から参加し、地域福祉ワーカーの活動への助言などを行った。</p> <p>第1回：4月26日(金)          内容：令和6年度の各地区の重点取組みについての情報交換</p> <p>第2回：6月28日(金)          内容：[講義]市内で寄せられている福祉相談に関する事例を学ぶ</p> <p>第3回：9月25日(水)          内容：[講義]効果的なチラシ作成の方法を学ぶ</p> <p>第4回：12月1日(金)          内容：[講義]効果的な会議の運営の方法を学ぶ</p> <p>第5回：11月28日(木) 14:00~16:00          内容：[グループワーク]一年の振り返り</p>		<p>地域福祉ワーカーから寄せられた意見をもとに実施することができた(長野市関係課と共同実施)。</p> <p>令和6年度においてはワーカー業務に役立つスキルを身につけることを目的に実施した。</p>
<p>1 事業の実施          市内31地区(25事業所)で実施          実施件数 39,371件(R5:39,365件)          家事援助 5,401件(R5:5,733件)          福祉移送 33,970件(R5:33,632件)</p> <p>2 利用料金の改定に係る協議          住民自治協議会の財政的負担軽減並びに協力会員の確保を目的とした利用料金の改定について協議するため、実施地区住民自治協議会を訪問し、協議を行った          実施地区 25地区(中心5地区、東北3地区含む)</p> <p>3 コーディネーター定例会          事業実施上の課題や状況を共有するための会議を実施(毎月1回)</p>	<p>P47 資料⑮</p>	<p>利用ニーズに対する協力会員の不足、住民自治協議会が負担する福祉移送車両の経費の増大といった諸課題に対応するため、利用料金の改定について実施地区と検討した結果、令和7年4月1日から施行できることとなった。</p>
<p>地区別研修          21地区(R5:21地区)</p> <p>全体研修          長野市地域福祉推進セミナーに併せて実施          活動事例集の作成          長野市地域福祉推進セミナーに併せて作成</p>		<p>福祉推進員設置地区すべてで研修を実施することができた。</p> <p>また、実施に際しては住民自治協議会や地区社会福祉協議会と協議の上、地区の実情に応じて工夫した研修を実施することができた。</p>
<p>信州くらしの支え合いネットワーク全体会          令和6年7月18日(木) オンライン開催</p>		<p>計画どおり実施することができた。</p>

(8)	長野市地域福祉推進セミナーの開催	長野市地域福祉計画に基づき、市民、福祉関係機関、行政等が一同に会し、地域福祉の推進に関する事柄について学び、意見交換を行う。
		連
(9)	老人福祉センター管理経営事業	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供することや、地域における福祉活動の拠点となるとともに、生きがいづくり講座を開催し高齢者の生きがいや余暇活動の促進を図ります。また、自身の介護予防のため、健康づくり等の介護予防関連事業を行います。
		指定管理 相 連 参 サ
(10)	公共交通バス受託事業（大岡地区）	高齢者や子ども等の移動手段を確保するために、市が所有する車輛3台（愛称：「ハッピー号」）を活用し、大岡地区内及び一部信州新町地区・信更地区への交通空白地有償運送を行っている。
		市受託 サ
(11)	第四次長野市地域福祉計画の推進	長野市の地域福祉施策のあり方について市民の意見や有識者等からの専門的な知識を反映させるため、長野市が設置している長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会へ参加するほか、長野市地域福祉計画の進行管理・評価を行うため、長野市が市民・福祉関係機関等により組織した推進会議及び庁内推進会議への出席・事務局的角色を担う。
		連 参
(12)	介護者支援・交流事業	在宅で介護している介護者を対象に、心身のリフレッシュを図ることを目的として、交流事業を行うほか、短時間（2～3時間）で、日頃の介護に対する思いなどについて話し合う場を老人福祉センターごとに開催し、介護者の相談や仲間づくりにつなげる。中条老人福祉センターでは、毎月第一木曜日に施設の一部を開放して介護者が気軽に立ち寄ってリフレッシュできる場を提供する。
		相 参
(13)	孤立防止活動の推進	孤立を見逃さない地域づくりに向け、市と協働し取り組んでいる「孤立防止・見守りネットワーク事業」を推進するとともに、地域の福祉関係者である住自協役員や民生委員・児童委員、福祉推進員等へ孤立防止に向けての意識啓発への働きかけを行う。
		相 連 参 サ

<p>期日：令和6年7月19日（金）  場所：若里市民文化ホール  参加者：326名  内容  1 基調報告  報告①「災害支援の現場から見えてきたふくしの力の大切さ」  山崎博之氏（社会福祉法人長野県社会福祉協議会）  報告②「個別避難計画について」  渡辺修氏（長野市保健福祉部福祉政策課）  2 パネルディスカッション  災害を視点にした地域づくりを行っている市内の事例をもとに、今後の本市におけるまちづくりについて議論  パネリスト：浅倉信氏（第三地区住民自治協議会事務局長、防災士）  荒井訓夫氏、松本裕文氏（園沖支え愛ネットワーク）  西澤淑恵氏（松代復興応援実行委員会）  コメンテーター：山崎博之氏（前掲）、渡辺修氏（前掲）  ファシリテーター：石井布紀子氏（NPO法人さくらネット理事長）  3 福祉推進員活動発表表模造紙の展示</p>		<p>能登半島地震を受け、関心の高まっている「防災」をテーマに開催したことで、前年度（R5:254名）より多くの方の参加を得て開催することができた。</p>
<p>指定管理制度の指定管理者として以下の通り実施した。  ・三陽・安茂里・氷鉋・鬼無里・中条 ※氷鉋老人憩の家含む（令和4年度～令和8年度の5年間の指定管理者）  ・信州新町福祉センター管理事業（令和3年度～令和7年度の5年間の指定管理者）  ・生きがいづくり講座実施回数  1,104回  ・地域福祉関連講座実施回数  502回</p>	<p>P47  資料⑩</p>	<p>本会指定管理施設内での情報共有を積極的に行い、高齢者の生きがいづくりのための講座の他、年代を問わず出会いの機会となる地域福祉講座も積極的に実施することができた。</p>
<p>運行日数 239日（R5：240日）  運行便数 4,252便（R5：3,958便）  利用者数 8,049人（R5：6,972人）</p>		<p>令和6年度は運行範囲が拡大したため、利用者が増加となったが、大きな事故もなく、適正に事業を実施することができた。</p>
<p>1 長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会  長野市（主管課：福祉政策課）の依頼により事務局として出席  開催日：令和7年2月17日（月）  2 第四次長野市地域福祉推進会議  長野市（主管課：福祉政策課）の依頼により事務局として出席  開催日：令和7年2月3日（月）  3 長野市地域福祉庁内推進会議  開催日：2月26日（火）※書面開催</p>		<p>計画どおり実施することができた。</p>
<p>介護者のつどい事業  実施回数 18回（6会場）（R5：18回（6会場））  延べ参加者数 71人（R5：43人）</p>		<p>旅行形式による交流事業は、費用対効果の面から見直し、本会が指定管理者として運営している老人福祉センターでの短時間の交流事業として実施した。</p>
<p>地区別研修  21地区（R5：21地区）  ※「長野市孤立防止・見守りネットワーク協議会」（市主催）は、本年度は開催されなかった。</p>		<p>各地区福祉推進員研修会において、高齢者の孤立防止に向けて市内で取り組まれている見守り活動の事例紹介等を通じて、孤立防止活動の推進を図った。</p>

(14)	コミュニティ・ソーシャルワーカー (CSW)の育成・配置	個別のニーズや課題解決のため、長野市関係課や地域の福祉に携わる団体と連携し、共に支え合う地域づくりを推進する職員として、CSWを育成・配置する。地域福祉課、相談支援課の両課で取り組む事業とする。
		相連参サ

### 5 地域福祉課（ボランティア担当）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	ボランティアセンターの運営				あらゆる住民の参加を進め、多様なボランティア・地域活動を推進・支援するとともに、連携・協働して様々な課題に取り組むボランティアを養成・支援するためにボランティアセンターを運営する。また、多様な活動者や関係者の参加によるボランティアセンター運営委員会を設置し、ボランティアセンター事業・活動の適切な運営を図る。
				相連参サ	
(2)	ボランティアの登録・相談・連絡・調整・紹介				ボランティアグループ・団体や個人の登録を行い、ボランティア活動に関する様々な情報を収集するとともに、ボランティアをしたい人やボランティアを必要とする人・機関等からの相談を受け止め、必要な情報や活動、人材のコーディネートを行う。
				相連参サ	
(3)	寄託金品の受け入れ・活用、機材貸出、会場の提供、活動資金の相談				寄託金品等の受け入れと活用を図るとともに、ボランティア活動を支援するために、資機材の貸出や会場の提供、活動資金や物品等の相談に応じる。
				相連参サ	

<p>本年度は4名で配置（兼務）し、長野市福祉政策課及び地域包括ケア推進課と連携し、主に下記の事業を実施した。</p> <p>1 地域福祉ワーカー連絡調整会議 企画から参加し、地域福祉ワーカーが円滑に活動できるよう支援</p> <p>2 地区訪問 住民自治協議会の会長をはじめ役員の皆様と課題を含めた地区の状況等について意見交換を実施</p> <p>3 地域福祉ネットワーク会議 地域と社会福祉法人の連携をテーマに企画・開催</p>		<p>地域福祉担当及びボランティアセンター担当職員をCSWとして位置づけ、長野市福祉政策課、地域包括ケア推進課と連携して地域福祉ワーカー連絡調整会議を実施した。また、住民自治協議会との懇談（地区訪問）を行い、住民自治協議会との関係性構築に努めた。個別のニーズ（相談支援課が対応）を基にした地域支援を展開するよう社協内部の連携を深める必要がある。</p>
--	--	--

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>1 ボランティアセンター運営委員会 ボランティアセンター事業の適正かつ円滑な運営を図るために、ボランティア・市民活動者、関係機関、学識経験者等からなるボランティアセンター運営委員会を設置し、必要な協議を行った。 委員数 17人（任期2年、令和6年度末まで） 開催頻度 4回（5/17、8/30、12/26、2/21）</p> <p>2 ボランティア活動振興事業助成金 ボランティア活動を振興し地域福祉の推進を図るため、ボランティア・市民活動をするグループに対して、1団体5万円を助成した。 実績 4団体 総額20万円</p> <p>3 ボランティアのつどい 市内で活動するボランティアグループが参加して、日頃の活動を紹介し合い、認め合い、交流するとともに、ボランティアに関心のある市民が様々な活動を知ることで、ボランティア・市民活動のきっかけとなることを目的に実行委員会形式で開催 テーマ 「30年の歩みを未来へつなごう」 日時 3月2日（日） 10:00～15:30 会場 ふれあい福祉センター全館 参加者 61団体、284人</p>		<p>センター運営に係る事項及び各種事業について多分野で活躍する委員から助言をいただき、センター運営の推進に努めることができた。</p> <p>ふれあい福祉センター開設30年に当たる年度であったことから、30年間のボランティアセンターの歩みを振り返るとともに、多くのグループ・団体が参加のもと実行委員会形式により開催。参加対象となるグループ・団体自らが実行委員として主体的に内容を検討し、実施することで連携・協働を深めることができた。</p>
<p>1 ボランティアセンター登録グループ・団体数 440団体（令和5年度433団体）</p> <p>2 相談件数 13,317件（令和5年度14,330件）</p>	P48 資料⑰	<p>相談件数が前年度実績を下回る状況となった。ボランティアセンター運営委員会の委員からは「学生や現役世代がセンターを知らない」ことが原因との指摘も受けており、周知や相談手段を工夫する必要がある。</p>
<p>1 登録グループ・団体への会場の提供 計 2,270件（午前763件／午後634件／夜間873件） （令和5年度2,830件）</p> <p>2 ボランティア活動資機材の貸出 車いす 177件 308台（令和5年度 163件 231台） アイマスク 18件 735枚（令和5年度 9件 239枚） 白杖 28件 482本（令和5年度 11件 200本） 点字板 7件 132枚（令和5年度 8件 115枚） コピー機 492件（令和5年度 471件） 印刷機 418件（令和5年度 388件）</p>	P48～ 資料⑰ 資料⑱	<p>会場提供や資機材の貸出を通じて、ボランティア活動への支援を行うことができた。</p>

(4)	<p>ボランティア活動に関する啓発・普及・広報・情報提供</p>	<p>ボランティア活動に関する様々な情報が集まるプラットフォームとして、情報紙、ホームページ、LINE公式アカウント、YouTube、街中掲示板等を通じて、必要な人・機関に必要な情報を届けるとともに、ボランティア活動への理解・関心を深めるための広報を行う。</p>
		相 連 参 査
(5)	<p>ボランティア活動推進のための講座・研修の開催</p>	<p>ボランティア・地域活動に関する様々な事例や手法を学び、理解を深め、住民の多様な参加を進めながら多様な活動を実践する人材を養成するための講座・研修を開催する。また、講座・研修を通じて、ボランティア・地域活動を推進するコーディネート力を持った人材の養成を行う。</p>
●		相 連 参 査
(6)	<p>地区住民自治協議会及び地区ボランティアセンターへの相談支援</p>	<p>住民自治協議会と連携して、地域でのボランティア活動の拠点として地区ボランティアセンターの整備及び支援を行うとともに、地域の課題を把握し、対応するボランティアの養成や活動づくり、地域資源の把握・開発等の支援を行う。</p>
		相 連 参 査
(7)	<p>まちの縁側など居場所・拠点づくりの推進</p>	<p>より身近な地域にある、寄り合い、集い、話せ、つながる「まちの縁側」や居場所を発見し広めるとともに、多様な人や物、情報が集まり、受け入れ、ともに集うプラットフォーム（拠点）としてのボランティアセンターづくりを推進する。</p>
● 拡大		相 連 参 査
(8)	<p>福祉共育（教育）・ボランティア学習の推進、ボランティア活動体験の機会創出・提供</p>	<p>地域の福祉課題に気づき、その解決に向けてともに考える福祉教育を地域や学校、施設、企業等で推進するとともに、福祉やボランティアに関心のある人に対して様々な学習や参加、体験の機会及び場やプログラムをコーディネートする。</p>
		相 連 参 査

<p>1 ボランティアかわらばんの発行 ボランティア活動の振興を図るため、情報紙を発行し、ボランティアに関する情報を発信する。年11回、毎回6,000部発行</p> <p>2 街中掲示板の設置 各住民自治協議会、老人福祉センター、協力企業等、市内約40か所に街中掲示板を設置し、ボランティアセンターの情報や、希望するグループ・団体等の告知等を行う。</p> <p>3 LINE公式アカウントの開設 登録数 1,116件（令和5年度 873件） 配信数 106,910件（令和5年度 100,289件）</p>		<p>LINE公式アカウントの登録が増えるとともに、情報配信数も増加するなど、情報発信のツールとして有効活用することができた。</p> <p>ただし、同SNSは登録した方のみに対して情報提供を行うものであることから、(2)の評価にもあるように広く情報提供することができる手段を検討する必要がある。</p>
<p>全3講座 103人参加 「その気になっちゃう」チラシの作り方 9/25（水） 会議の回し方、運営の仕方 11/28（木） 等話で風通しのいい会議を開こう 1/18（土）</p>	<p>P49 資料⑨</p>	<p>ふれあい福祉センターを拠点とした講座のほかに、地区へ出向き住自協等と協力のもと、共同で講座の実施ができたが、目標としていた前年度と同程度の講座数を実施することができなかった。</p>
<p>1 地区ボランティアセンター開設・支援数 開設数 0件（令和5年度 0件）</p> <p>2 地区での講座・研修の開催・協力 大豆島地区 8/24（土）テーマ「サロン・地域活動の送迎」 朝陽地区 11/9（土）テーマ「地域の居場所、つながりづくり」 若槻地区 2/2（日）テーマ「これまでとこれからのつながりかたを考える」</p>		<p>すでに開設している地区ボランティアセンター（16箇所）の運営状況の調査を実施。令和7年度においては、調査結果をもとに開設地区の情報共有の場を作るとともに、地区ごとに支援を行う必要がある。</p>
<p>市内での居場所づくりを進めている団体である「まちの縁側プロジェクトながの」と連携し、「ボランティアかわらばん」に紹介記事を毎月掲載した。</p>		<p>推進のための広報活動を中心に行ったが、拠点づくりに係る講座等を実施することができなかった。</p>
<p>1 福祉教育・ボランティア学習普及校事業 学校における福祉教育・ボランティア学習を推進するため、普及校の指定及び1校あたり上限3万円の助成を行った。 実績 38校（小学校22校、中学校5校、高等学校5校、特別支援学校6校）に1,067,950円の助成 （令和5年度 41校に1,179,830円の助成）</p> <p>2 サマーチャレンジボランティア 中学生以上を対象に、夏休み期間を利用して、気軽にボランティア活動の第一歩を踏み出すきっかけとして、社会福祉施設やボランティアグループが受入先となり、ボランティア活動体験プログラムを行った。 受入先 84施設・団体（令和5年度：51施設等） 参加者 209人（令和5年度199人）</p> <p>3 ちょっとボラの推進 「ちょっと何かしてみたい」ボランティア活動への参加のきっかけになるとともに、居場所となる活動プログラムをそれぞれ毎月1回実施した。 エコ封筒づくり 70人（令和5年度 65人） グリーンボラカフェ 61人（令和5年度 86人） 切手の小箱サロン 49人（令和5年度 63人）</p>		<p>福祉教育・ボランティア学習普及校事業について、例年並みの申請数となり、ここ数年横ばいの状態が続いている。より多くの学校に参加していただけるよう学校との連携を深めることが必要。 サマーチャレンジボランティアは多くの受入先の協力の元、ボランティア活動を体験する機会を設けることができた。</p>

(9)	課題やニーズに応じたボランティア活動の支援と、新たな課題に対応する活動の開発	様々な福祉課題やニーズに対応するボランティア活動を支援するとともに、様々な事業・活動を通じて把握した新たなニーズに対応するボランティアの育成やプログラム開発を行う。
		相 連 参 査
(10)	地域福祉課題の解決に向けた連携・協働の推進とネットワークづくり	様々なボランティアグループ・団体や個人がお互いの活動を知り、認め合い、つながる機会や場を提供するとともに、災害時や多様な地域福祉課題の解決に向けて、地域の様々な機関・団体、施設、企業、学校、行政等が連携・協働するネットワークづくりを推進する。
		● 相 連 参 査
(11)	ボランティア保険の紹介・加入・取次ぎ	ボランティア活動を安心して行えるようボランティア保険の紹介・加入・取次ぎを行う。
		参 査

6 相談支援課（長野市権利擁護センター）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	日常生活自立支援事業				認知症高齢者等の判断能力が不十分な方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預かりを行う。（社会福祉法に定める第2種社会福祉事業）
		県社協受託相 査			
(2)	暮らしのあんしんサービス事業				<p>判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預かりを行う。</p> <p>令和6年度においては、これまでの本会が実施してきた各種金銭管理支援における顕在化したニーズに対応するため、本事業の改正を行い、「地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援の推進」を図る。なお、具体的には以下の点を改正した上で事業の推進を図る。</p> <p>①対象者の拡大（判断能力の低下はあるも、日常生活自立支援事業の対象とならない方）  ②簡易な契約による有期（概ね2～3ヶ月）の支援  ③判断能力が低下・喪失している契約することが困難な方で、成年後見人等が選任されるまでの間の緊急事務管理</p>
		● 拡大 相 査			

<p>1 傾聴電話活動の推進 「電話で聞く」ことを通じて、話を聞いてほしい人の気持ちに寄り添い、心のよりどころとなるために、研修を受けたボランティアが電話の受け手として活動。毎週月・水・土曜日に開設。 実績 合計：287人（新規91人、継続196人） 受け手ボランティア 16人 受け手ボランティア養成講座の実施 ・基礎研修（全3回） 15人 ・専門研修（全6回） 6人</p> <p>2 能登半島地震・豪雨災害ボランティア活動 ボランティア登録グループ・団体に呼掛け、災害ボランティア活動者を募集。2クールに分かれて、支援活動を実施 第1クール（11/21～11/22） ・参加者 11名 ・活動先 石川県輪島市 第2クール（11/26～11/27） ・参加者 10名 ・活動先 石川県輪島市</p> <p>3 スノーバスターズプロジェクト 自力での除雪が困難な高齢者や障害者等を対象に、玄関から道路までの範囲で除雪を登録ボランティアが支援する調整を実施 ・依頼希望 13件 ・登録ボランティア 9人</p>		<p>例年実施している傾聴電話の担い手養成及びスノーバスターズに加え、能登半島地震・豪雨災害へのボランティアによる支援活動を企画。「被災地への支援活動を行いたい」とのニーズに対する活動を企画することができた。</p>
<p>ボランティアのつどいを開催し、多様な活動者のネットワークづくりを進めた。また、全国共同募金会の全国ミーティングが長野市を会場に開催されたため、住民自治協議会にも参加を呼掛け、2地区（朝陽、浅川）が分科会へ参加（※日頃の活動を発表）</p>		<p>市内外の多様な活動者とのネットワークづくりに努めた。</p>
<p>ボランティア保険 活動保険 623件 6,042人（令和5年度 510件 6,809人） 行事用保険 132件 12,224人（令和5年度 129件 13,495人）</p>		<p>令和6年能登半島地震を受け、ボランティア保険の利用件数、利用者数がともに増加した。</p>

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>認知症高齢者等の判断能力が不十分な方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預かりを行った。（社会福祉法に定める第2種社会福祉事業） 長野県社会福祉協議会と契約し基幹的社会福祉協議会として、長野市、信濃町、小川村を対象エリアに事業を実施した。</p> <p>契約件数 183件（R5:198件）</p>	<p>P49 資料⑳</p>	<p>課内で実施される「総合相談カンファレンス」において課題を整理し、連携により支援に活かすことができた。 相談件数は、昨年度を上回った。県社協の事業適正化で契約件数が減少したが、当会で契約できると判断した方については暮らしのあんしんサービス事業で対応した。</p>
<p>判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預かりを行った。（長野市社協独自事業）</p> <p>契約件数 84件（R5: 60件） 相談者実数 796人（R5: 491人） 延べ相談実数 6,974件（R5:3,716件）</p>	<p>P50 資料㉑</p>	<p>日常生活自立支援事業適正化事業により対象外とされたケースについて、契約可能な事例については暮らしのあんしんサービスで契約したことにより対象者の生活の安定を図ることができた。 また、事業の浸透に伴い、相談、契約件数ともに前年度を大幅に上回り、事業開始以降最大の相談数、契約数となった。</p>

<p>(3)</p>	<p>長野市成年後見支援センター事業</p> <hr/> <p>市受託 相</p>	<p>成年後見を適切に利用するため専門相談窓口を開設し、相談から調整・申立支援等を総合的に行う。</p>
<p>(4)</p>	<p>法人後見事業</p> <hr/> <p>サ</p>	<p>本会が長野家庭裁判所から選任された成年後見人等になり、判断能力が不十分な人への支援を行う。</p>
<p>(5)</p>	<p>「おひとりさま」あんしんサポート事業</p> <hr/> <p>● 市受託 相 サ</p>	<p>意思決定が可能な身寄りのない自立した高齢者等が抱える様々な不安を解消するため、身元保証や日常の財産管理及び死後の葬儀・財産の処分等の事務といった様々な問題についての相談を受けるとともに、任意後見制度及び関連する諸制度が適切にかつ安心して利用できるように必要な支援を行う。</p> <p>市や各関係機関で検討し策定した「入院・入所ガイドライン(長野市版)」の浸透・活用に向け市と共に取り組む他、相談体制の強化、関係機関との連携強化を図る。</p>

<p>1 後見ネットワーク推進事業 各機関が主催する成年後見制度に関する研修会へ職員を講師として派遣。⇒延べ7回 長野市、信濃町、飯綱町及び小川村の障害者相談支援事業窓口や地域包括支援センター窓口へチラシを配布し、事業の周知を図った。</p> <p>2 専門相談・利用支援事業 相談対応件数 2,068件 (R5:2,482件) 専門職調整委員会の開催 12回</p> <p>3 後見活動支援事業 成年後見制度利用促進会議を市と共同開催し(7/2)、信濃町、飯綱町、小川村及び各町村社会福祉協議会と今後の各町村における利用促進の方針と市民後見人の養成、法人後見事業への取り組みに関する展望に関して意見交換を行った。</p> <p>4 市民後見推進事業 法人後見支援員設置事業(実務研修) 第1期長野市市民後見人養成講座(平成30年度実施)及び第2期養成講座(令和4年度実施)修了者の内、実務研修の受講を希望した18名をパート職員として雇用し、法人後見事業の実務を経験させた。</p>	<p>P50 資料㉒</p>	<p>組織改編により法人内相談部門が相談支援課に一元化され、アセスメントの調整、適切な担当への誘導を行うことができた。</p>
<p>新規受任件数 後見 9件 (R5:12件) 保佐 3件 (R5:3件) 補助 4件 (R5:2件) 任意後見等 0件 (R5:6件)</p>	<p>P50 資料㉓</p>	<p>受任している法定後見等業務について、監督者である長野家庭裁判所から指摘はなく、安定的な事業運営を行うことができた。</p>
<p>1 任意後見制度利用促進業務 介護支援専門員や民生児童委員協議会の研修会講師 3地区 地域包括支援センター・在宅介護支援センター運営調整会議にて事業説明を実施。</p> <p>2 身元保証・財産管理・死後事務相談業務について 相談対応件数 2,281件(新規280件、継続2,001件)</p> <p>3 任意後見制度等利用支援業務 任意後見契約受任者等の受任調整の一環として、市内・近郊の専門職等との業務提携協定の締結。R6年度、行政書士1名追加。 任意後見契約について、5(司法書士3、行政書士2)件、専門職へ紹介。本会との任意後見契約0件。</p> <p>4 身寄り問題サポートネットワーク業務 「入院・入所ガイドライン」について、市担当課(地域包括ケア推進課)、権利擁護センターで協力し、支援者向けの「長野市における身寄りのない方への支援のためのガイドライン」として、4月に完成。市ホームページへ掲載。</p>	<p>P50 資料㉔</p>	<p>R3年10月に「おひとりさま」あんしんサポート相談室開設以来、身寄りのない高齢者等からの相談に応じており、昨年度と比較し、相談・支援件数が889件増加した。 ガイドライン作成過程で連携が図られた効果もあり、対象者本人からだけでなく関係機関からの相談が増加した。ならびに、本会との任意後見等の契約等に至らない終末期、入院中や入所にむけた相談・支援も増加した。 関係各機関からの相談が増加し、対象者本人を中心とした支援ネットワーク構築に寄与してきている。 ガイドラインについては、今後も普及活動を継続し浸透状況・意見等を聴取する必要がある。</p>

7 相談支援課（長野市生活就労支援センター）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業				<p>就職や住まい、家計やひきこもりなどの困りごとや不安を抱えている方（世帯）に対し、相談支援を行いながら個々人の状況に応じ必要な制度、サービスにつなぐ。また関係機関とのネットワークづくりや不足する社会資源等の開発に取り組む。</p>
	●		市受託	相連参サ	
(2)	生活福祉資金貸付事業				<p>県社協からの委託を受け、低所得世帯等に対し、相談援助を実施しながら、世帯の自立助長を目的に必要な資金の貸付を行う（第2種社会福祉事業）。</p>
			県社協受託	相	
(3)	きぼう相談事業				<p>誰にも相談できない、どこに相談したら良いか分からないといった「よろず」的な相談に対し、相談所を開設し相談を行う。</p>
				相	
(4)	法律相談事業				<p>法的な見地からの相談対応が必要な相談に対し、弁護士を相談員として、法律相談を行う。</p>
				相	

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>生活困窮者等の相談窓口として「長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”」を開設し生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労訓練支援事業及びアウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：18,758件</li> <li>・プラン作成件数：292件</li> </ul> <p>物価高騰を理由とした家計相談の件数が増加した。家計の可視化、見直し等の支援を行うと共に、一時的な支援として食糧品や日用生活品等の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計改善支援事業相談件数（延べ）：1,758件</li> <li>・県フードサポートセンター申込み件数（延べ）：573件</li> <li>・日用生活品等緊急支援申込み件数（延べ）：248件</li> </ul> <p>ひきこもり等の社会参加や中間的就労を目的に、障害者就労支援事業所等の事業所を訪問し、認定就労訓練事業所の新規開拓を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定就労訓練事業所新規登録件数：4事業所（3法人）</li> </ul> <p>保健センター等の支援関係機関と連携したひきこもり支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：2,110件</li> </ul> <p>まいさぼ長野市の周知を図るため、各地区民生委員・児童委員協議会の定例会に出向いて事業の説明を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地区数：17地区</li> </ul> <p>社協内「フードドライブ」について、行政機関や地域の関係団体にも呼びかけを行い、生活環境課や住民自治協議会、赤十字奉仕団等から食糧品等の寄付を受領した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付件数（延べ）：294件</li> <li>・提供件数（延べ）：720件</li> </ul>	<p>P50 資料⑤</p>	<p>物価高騰の影響もあり延べ相談件数は対前年比1,004件増の18,758件と過去最高の件数となった。職員の配置人数は前年同様であったが、職員の資質向上及び支援関係機関と連携した支援を行うことで円滑な相談窓口の運営を行うことができた。</p> <p>関係機関とのネットワークづくりについては、重層的支援体制整備事業の担当者とも連携し、定期的な会議に参加することで高齢、障害、こどもといった他分野の担当職員とも顔の見える関係づくりを行い、必要な制度やサービスに円滑につなぐことができた。</p>
<p>低所得者世帯、高齢者世帯、障害者世帯からの資金需要に関する相談について、相談支援を通じて貸付が可能な世帯に対し世帯の自立助長を目的とする必要な資金の貸付を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付件数：20件（13,093,900円）</li> </ul> <p>貸付ができない世帯に対して、貸付の可否だけではなくまいさぼ長野市等の支援関係機関へのつなぎを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：1,230件</li> </ul> <p>借受人に対し、県社協と連携した償還指導等を行った。</p>	<p>P52 資料⑥</p>	<p>相談支援を通じた資金の貸付を実施することで世帯の自立につながる支援を行うことができた。</p> <p>相談件数に対し貸付件数が少ない状況ではあるが、他の支援関係機関と連携した支援を実施することで相談者が必要とする支援につなぐことができた。</p>
<p>本部（毎週火・金曜日）、篠ノ井（毎週月曜日）に相談窓口を開設し相談事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：1,849件</li> </ul>	<p>P52 資料⑦</p>	<p>相談者の属性や相談内容を問わない「よろず相談所」として孤独や孤立等の悩みを抱える市民に寄り添うことができた。</p>
<p>毎月第三金曜日に弁護士による法律相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数：43件</li> </ul>	<p>P52 資料⑦</p>	<p>相談支援課の各担当とも連携し、相談を必要とする市民に弁護士による相談を受けられる機会を提供することができた。</p>

(5)	ふれあいデイケア事業	相談事業等で把握した、ひきこもり者等社会参加や居場所が必要な方を対象に、交流する場を提供し、必要な支援につなぐ。
		参
(6)	緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業	新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急小口資金等特例貸付後、償還が困難になっている世帯や新たな生活課題を抱えている世帯などに対する相談支援体制を強化する（県社協補助金事業）。
		新規 県社協補助 相 連 参

### 8 相談支援課（重層的支援体制整備担当）

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	重層的支援体制整備事業（多機関協働事業）				<p>支援関係機関等からつながれた、複雑化・複合化した支援ニーズを有し、様々な課題の解きほぐしが求められる事例等に対して、課題の把握や支援関係機関の役割分担、支援の方向性の整理など事例全体の調整機能の役割を果たすなど、「支援者を支援する」役割を担うことで、包括的な支援体制を構築できるよう必要な支援を行う。</p>
	●	新規	市受託	相 連 参	
(2)	重層的支援体制整備事業（アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業）				<p>潜在的なニーズを抱える者を早期に発見するために、支援関係機関や地域住民等の関係者との連携体制を構築し、これらのつながりの中から相談や課題を抱えた人を把握する。また、丁寧なアセスメントを行い関係性の構築に向け必要な方策を検討し、適切な支援関係機関等へのつながりを行う。</p> <p>既存の社会参加に向けた事業では対応できない本人や世帯の狭間のニーズに対応するため、地域の社会資源などを活用し、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。</p>
	●	新規	市受託	相 連 参	

<p>毎週水曜日に書道及びちぎり絵、隔週金曜日に居場所のデイケアを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動日数（延べ）：94日</li> <li>・参加人数（延べ）：199人</li> </ul> <p>直ちに一般就労が難しい方向けの中間的な就労の場としても本事業を活用し、軽作業等を行える場を提供した。</p>	<p>P53 資料㉘</p>	<p>社会参加のきっかけや居場所づくり、他者との交流機会の確保、中間的な就労の場など広く本事業を活用した支援を行うことができた。</p>
<p>緊急小口資金等特例貸付の借受人等からの相談に応じると共に、まいさぼ長野市や福祉事務所等の支援関係機関とも連携した支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：2,296件</li> </ul> <p>滞納中の借受人や未応答の借受人、償還猶予中の借受人等に対し、県社協とも連携し借受人からの相談を待つことなくプッシュ型の相談支援として電話、郵送、訪問によるアウトリーチ型の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応件数（延べ）：211件</li> </ul>	<p>P53 資料㉙</p>	<p>相談により把握した生活課題について、他の支援関係機関と連携した支援を実施し、必要な制度やサービスにつなぐといったフォローアップ型の支援を実施することができた。</p> <p>ただ、未応答の借受人も多いため、次年度も引続きプッシュ型の支援に取り組む必要がある。</p>

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>主に支援関係機関等からの相談に応じ、情報提供や他の支援関係機関へのつなぎ、課題の把握・共有、役割分担・支援の方向性の整理といった「支援者支援」を目的とした相談支援を行った。また、すぐに解決することが困難な事案が多い中で、少しでも「支援者支援」の役割が果たせるよう、対象を限定せず広く支援関係機関からの相談に応じることができるよう支援関係機関に対し周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：1,759件 （うち他機関との会議及び電話照会・協議：1,508件）</li> </ul> <p>高齢・障害・こども・困窮といった各分野の担当者を構成員とした「重層的支援会議」を開催し、複雑化・複合化した課題を有する対象者の支援プランについて、プランの適切性の協議や評価等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重層的支援会議（支援会議）開催回数：11回</li> <li>・プラン作成件数（多機関協働事業）：22件</li> </ul>	<p>P53 資料㉚</p>	<p>包括的な相談支援体制を構築できるように重層的支援会議等を活用し支援関係機関と顔の見える関係づくりを行うことができた。</p> <p>次年度以降の課題として、事例の積み重ねを行うことで本事業の対象者を明確にしていく必要がある。また、支援会議を活用した支援ニーズ等の情報共有を行うことで課題の整理、支援関係機関の役割分担、支援の方向性等支援に必要な事項について協議することができた。</p>
<p>地域包括支援センターやまいさぼ長野市等他の支援関係機関と連携し、支援につながっていない市民に必要な支援につなげるため、対象者との信頼関係を構築しながら伴走型の相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：1,577件</li> <li>・プラン作成件数（アウトリーチ）：8件</li> </ul> <p>一般企業や障害者就労支援事業所、認定就労訓練事業所等既存の社会資源とつながり、対象者の就労や社会参加に向けた相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数（延べ）：667件</li> <li>・プラン作成件数（参加支援）：11件</li> </ul> <p>事業所管課である福祉政策課と共に庁内関係課を始め、ケアマネジャーやケアプランナー等の支援関係機関、就労や社会参加に関わりのある企業や団体に事業の説明を行うなど、地域の関係者との連携体制構築を推進した。</p>	<p>P54 資料㉛</p>	<p>必要な支援につながっていない対象者に対し、訪問等による相談支援を実施し徐々に信頼関係を構築しながら他の支援関係機関につなげることができた。</p> <p>障害者就労支援事業所等と連携し、障害者手帳がなくても社会参加の一環として事業所を活用するなど就労や社会参加に向けた支援を行うことができた。</p> <p>次年度以降の課題として、地域の支援関係機関等と連携した対象者の把握、既存の社会資源を活かした出口支援の拡充に注力していく必要がある。</p>

(3)	コミュニティ・ソーシャルワーカー (CSW)の育成・配置 (再掲)	個別のニーズや課題解決のため、長野市関係課や地域の福祉に携わる団体と連携し、共に支え合う地域づくりを推進する職員として、CSWを育成・配置する。地域福祉課、相談支援課の両課で取り組む事業とする。
		相 連 参 査

### 9 相談支援課 (みなみ出張所担当)

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	相談支援課みなみ出張所運営事業				相談支援課の出張所を篠ノ井地区に設置し、主に南部地域における日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業、生活福祉資金貸付事業の相談者、利用者の支援を行う。
				相	

### 10 介護サービス課

No.	取組・事業名				取組・事業の概要
	重点	新規等	種別	総合計画	
(1)	利用者の社会参加及び地域貢献活動の支援の拡充				地域の社会資源の活用や、企業などと連携し、利用者が貴重な経験や技術を生かし、役割を持って社会参加や地域貢献活動できるよう支援を拡充させる。引き続きエコバックを活用して社協の取組を発信するなど充実を図る。また、活動を提案できる職員体制と行動できる職場風土づくりに努める。
	●			連 参	
(2)	介護報酬改定に対応した事業の見直し				介護報酬改定の趣旨と内容を理解し、加算を含め今後の動向を考慮して事業の見直しを行う。
	●	新規		サ	
(3)	地域の方が気軽に立ち寄り、相談できる場所の提供				利用者の方を含む地域の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、事業所の機能や専門職としての知識を活かして、介護者教室や認知症カフェなど実施し、認知症理解の啓発や相談支援等を行う。
	●			相 連	
(4)	L I F Eを活用し質の高い介護の推進				利用者の自立支援、在宅生活継続のための機能訓練の充実を図る。また、L I F E※1へのデータ提出とフィードバックを活用し、アウトカム評価※2の充実を図る。
	●			サ	
(5)	多様な人材が活躍できる職場づくり				高齢者や外国人、あるいは障害者等の多様な人材を活用し、自身の能力を發揮して活躍できる環境を整備する。(技能実習生、介護助手、有償ボランティア等)
	●			サ	

<p>本年度は4名で配置（兼務）し、長野市福祉政策課及び地域包括ケア推進課と連携し、主に下記の事業を実施した。</p> <p>1 地域福祉ワーカー連絡調整会議 企画から参加し、地域福祉ワーカーが円滑に活動できるよう支援</p> <p>2 地区訪問 住民自治協議会の会長をはじめ役員の皆様と課題を含めた地区の状況等について意見交換を実施</p> <p>3 地域福祉ネットワーク会議 地域と社会福祉法人の連携をテーマに企画・開催</p>		<p>地域福祉担当及びボランティアセンター担当職員をCSWとして位置づけ、長野市福祉政策課、地域包括ケア推進課と連携して地域福祉ワーカー連絡調整会議を実施。また、住民自治協議会との懇談（地区訪問）を行い、住民自治協議会との関係性構築に努めた。</p> <p>個別のニーズ（相談支援課が対応）を基にした地域支援を展開するよう社協内部の連携を深める必要がある。</p>
--	--	--

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>南部地域を中心に相談を受け、日常生活自立支援事業および暮らしのあんしんサービス事業への契約、支援を実施した。</p> <p>新規契約数 21件（R5:15件）</p> <p>生活福祉資金貸付事業の相談受付、対応を実施した。</p>		<p>相談受付時から各関係者と連携することにより、利用者への迅速な支援につなげることができた。</p> <p>生活福祉資金貸付事業等の相談は、初期の聞き取りを本部貸付担当へスムーズに繋ぐことができた。</p>

事業実績	資料 頁・No	評価
<p>昨年度から継続して善光寺仲見世・コンビニ・ドラッグストア等企業や地域と連携し。利用者が作成したエコバッグを置いてもらうことができた。</p> <p>子ども食堂や事業所周辺のごみ拾いや清掃等社会参加につながる活動を進められた。</p>		<p>エコバッグにホームページのQRコードを貼付する等の工夫で社協の取組を知ってもらいきっかけが作れた。</p> <p>既存の取組を活かした新たな活動を生み出すことはできなかった。</p>
<p>介護報酬改定を受け、取得できる加算は積極的に取得していく姿勢で進めた。</p>		<p>加算の算定要件等なかなか対応できないものや、費用対効果が低く導入が現実的でないものもあり、苦戦した。</p>
<p>介護者教室の開催 認知症サポーター養成講座（一般住民、中学校等）の開催 男性介護者に特化したつどいの開催 認知症理解の啓発のため、オレンジカフェの開催を支援</p>		<p>介護者教室やオレンジカフェ、介護者のつどい等の取組を通じて地域の相談窓口としての認識を広めることができた。</p> <p>合わせて認知症に関する理解を深めていただくことができた。</p>
<p>機能訓練指導員を中心に外部の研修会に積極的に参加し、LIFE活用に向けた取り組みが進められた。</p> <p>新規採用の機能訓練指導員に対しての支援にも力を入れ、全体的な底上げを図った。</p>		<p>外部の研修会に参加するなどし、利用者の自立支援や在宅生活継続のための機能訓練の充実を図ることができた。</p>
<p>新たに技能実習生2名を受入れ、慣れない環境の中で力を発揮できるように後方支援を継続して実施した。</p> <p>子育てやライフプラン等職員の状況に配慮した勤務配置等を行った。また、介護助手の積極的な採用を進めた。</p> <p>長野県セルフセンター協議会を通じて、清掃・除草業務を委託し、柳町及び安茂里通所介護事業所で実施した。</p>		<p>安茂里に配置された実習生が引き続き勤務を希望するなど、支援体制の強化に効果が見られた。</p> <p>有償ボランティアについては、ボランティアに依頼する仕事の範囲を明確化する作業が進まず、導入に至らなかった。</p>

(6)	介護現場における多様な働き方の整備	多様化・複雑化する介護ニーズに限られた人材で対応していくため、テレワークなどの多様な働き方、柔軟な勤務形態による効率的・効果的な事業運営を行う。
	●         サ	
(7)	I C T等のテクノロジーの活用促進	利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減につなげるため、業務や多職種連携におけるI C T等のテクノロジーの活用を進める。
	●         連	
(8)	感染症や災害への対応力向上	感染症や災害が発生しても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するためのBCPに基づき、地域と連携した災害対応を強化するとともに、研修や訓練（シミュレーション）を実施する。また、BCPも定期的に見直しを行う。
	●         サ	
(9)	認知症の対応力向上	介護サービスにおける認知症対応力を向上させるため、無資格者は認知症介護基礎研修を受講し、有資格者は更なるステップアップのため研修に参加する。また認知症ケアに関する個別事例の検討や技術的指導に係る会議等を開催する。
	●         サ	
(10)	高齢者等虐待防止の推進	利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、委員会の設置開催、指針の整備、研修を実施するなど、高齢者等虐待防止に向けた施策の充実を図る。また、身体的拘束等の更なる適正化を図る。
	●         サ	
(11)	中山間地域等の経営の見直し	中山間地域等において、質の高い安定したサービスを継続的に提供できるよう経営改善を進め、健全経営に努める。
	●         サ	
(12)	居宅介護支援事業	要介護状態の高齢者等が介護保険のサービスを受けられるようケアマネジメントサービスを行う。また、ヤングケアラーなどの多様な課題への対応、ケアプランデータ連携システムの活用など質の向上やサービスの効率化を図る。
	相 連         サ	

<p>週休3日制導入を検討し、試験的な導入や効果の検証を行うなど働きやすい環境作りに努めた。 テレワークによる勤務の環境作りの検討を実施した。</p>		<p>週休3日制の試験的な導入の中で課題も出ているため、引き続き検討を進める必要がある。 (次年度に柳町でも試験的な導入を検討中)</p>
<p>音声認識ソフトの導入等について検討した。 柳町通所におけるインカムマイクの導入事例を発表し共有した。 各事業ごとに業務の効率化を図るためのICT導入を検討した。</p>		<p>音声認識ソフトは導入には至らなかった。次年度モデル事業を選定し、試験的に導入していく。 インカムマイク導入希望の声は上がらなかったため、引き続き導入に向けた支援を実施する。</p>
<p>各事業所において必要な研修・訓練を実施した。 能登半島地震被災地の福祉避難所での業務に従事した職員達の経験を基に本会として必要な準備や地域貢献等を検討した。</p>		<p>実体験に基づき、今後取り組んでいく必要がある事柄を抽出し、共有することができた。 不足する事柄については今後も引き続き検討が必要。</p>
<p>無資格の新規採用職員に対して速やかな認知症研修の受講を進めた。 外部研修や事業所内の研修の機会を活用し、有資格者についても更なるステップアップに務めた。</p>		<p>研修や事例検討を通して認知症への対応力の底上げを図った。</p>
<p>各事業所において指針に基づいて定期的に委員会を実施し、出された意見を基に研修会を実施した。</p>		<p>研修の機会を通して高齢者等への虐待防止への理解を深めた。</p>
<p>中山間地域の事業所を中心に介護サービス課主幹級の所長や経営戦略担当による担当制を実施し、現状把握や事業所の職員とともに経営改善策を検討した。 中山間地域の事業所では担当者も職員会議や研修会の場に参加し、事業所を取り巻く地域の課題等を共有した。 中長期計画(案)を作成し、不採算事業所の見直し等を計画的、継続的に実施できるように進めた。</p>		<p>不採算事業所の職員体制の見直しや食事の提供方法の見直し等を実施し、健全経営に近づけるよう務めた。 人口減少等で今後も利用者減は続くため、よりよい方向性を継続して検討する必要がある。 事業所職員と担当が集まることも厳しいことからZOOMなども活用した実施方法を模索していく。</p>
<p>要介護者または要支援者からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状態等に応じ適切なサービスを利用できるよう、保険者、サービス事業所、医療、インフォーマルサービス等との連絡調整を行い、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助を行った。 報酬改定並びに保険者のルール変更に基づき、居宅介護支援マニュアルの見直しを行い、「初任者にも解りやすいマニュアル」を目指し作成した。ヤングケアラーなどの多様な課題への取組みとして研修会に参加した。 昨年度比を下回ることなく、安定した収入を維持できた。</p>	<p>P54～ 資料㉔ 資料㉕</p>	<p>法令遵守の下、収支を意識した事業を展開する事ができた。 中山間地の利用者減は避けられない部分もあるが、新規利用者の紹介は断らない方針で取組む事ができた。 取扱件数の増やすため業務の効率化を目指しICT等の活用を探る。またインセンティブを取り入れケアマネのモチベーションの向上を図る必要がある。 各種研修会に参加し質の高い公正中立なケアマネジメントを実施する。</p>

(13)	訪問介護事業				ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事や排泄など日常生活上の介護や、調理や洗濯などの生活援助を行う。
				サ	
(14)	通所介護事業				通所介護事業所において、食事・入浴などの日常生活上の世話や機能訓練・レクリエーションなどを行う。また、社会参加活動を活発にし、利用者が生き生きと活躍できる場を提供する。
				サ	
(15)	短期入所生活介護事業				自宅での生活が継続してできるよう短期入所施設において、入浴、食事などの日常生活上の介護や機能訓練などを行う。
				サ	
(16)	認知症対応型共同生活介護事業				認知症高齢者を対象にしたグループホームにおいて、共同生活の中で、安定した日常生活が送れるよう必要な介護や生活の世話をを行う。
				サ	
(17)	訪問看護事業				看護師が自宅を訪問し、主治医の指示に従って、療養上の世話や診療の補助などを行う。
				サ	
(18)	居宅介護				訪問介護員が障害者の自宅を訪問し、入浴・排せつ・食事などの介護や、調理・洗濯・掃除などの家事を行う。
				サ	
(19)	重度訪問介護				重度の障害者で常に介護を必要とする人に、訪問介護員が自宅を訪問し入浴・排せつ・食事などの介護や、外出時における移動支援などを総合的に行う。
				サ	
(20)	同行援護				移動が困難な視覚障害者等に対し、訪問介護員が通院介助や日常生活における買い物など、外出時に必要な援助を行う。
				サ	
(21)	介護保険外サービス事業				介護保険制度では適用できないサービスを提供する。(ゴミ出し、通院介助など)また、営業等により広く周知する。
	●			サ	
(22)	移動支援サービス				屋外での移動が困難な障害者を対象に、ホームヘルパーが社会生活を営む上で必要な外出や余暇活動を実現するための外出等を支援する。
				サ	
(23)	高齢者生活福祉センター事業				居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、通所介護事業所併設の居宅施設において、各種相談、助言、緊急対応を行う。(鬼無里・大岡・中条地区)
		指定管理		サ	
(24)	高齢者共同生活支援施設事業				居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応を行う。(戸隠地区)
		指定管理		サ	

<p>長野市の子育て世帯訪問支援事業を受託し、家庭で家族の介護をする役割を担う子ども（ヤングケアラー）に対しての支援を行った。</p> <p>報酬改定の影響を受けて減収傾向が続いたが、アドバイザーの指導の下、事業所間で連携して新規を積極的に受け入れた。</p> <p>シフト表作成等業務の見直しを行い、スムーズに新規を受けられる体制を構築した。</p>	<p>P56～ 資料⑳</p>	<p>特に中山間地域では介護度が上がると在宅での生活の継続が厳しいため、終了までの期間が短くなっており、今後も新規に即対応する等の対策を講じていく。</p> <p>訪問介護に従事する職員が減少しているが、事業所の協力体制を強化することで対応できるようになってきた。</p>
<p>通所介護サービスを10事業所（サテライト1事業所含む）で提供した。</p> <p>各事業所において自立支援に向けた取組の実施や社会参加活動のないよう、機能訓練プログラムの充実を図った。</p>	<p>P57～ 資料㉑</p>	<p>昨年度と比較して中山間地域の事業所を中心に稼働率の低下傾向が進んでいる。</p>
<p>短期入所生活介護サービスを2事業所（鬼無里・大岡）で実施した。</p>	<p>P59 資料㉒</p>	<p>鬼無里では昨年度を上回る利用回数であったが、大岡ではコロナ感染やそれによる利用控えが影響して利用回数が大きく減少した。</p>
<p>鬼無里なかよしハウスにおいて、認知症対応型共同生活介護サービスを提供した。地域の方との交流もコロナ禍以前のような交流ができた。</p>	<p>P59 資料㉓</p>	<p>利用者が入所するなど、空きがある状況が続いた。</p> <p>地域の方との交流を続けて進めていく。</p>
<p>戸隠において、訪問看護サービスを提供した。</p>	<p>P59～ 資料㉔</p>	<p>昨年度と比較し、利用者数に変化はなかったが、利用回数が増えた。</p>
<p>積極的な営業活動を進め、新規を受けることができた。</p>	<p>P60 資料㉕</p>	<p>営業方法を検討し、事業所間で共有して実施できた。</p>
<p>重度の障害者の身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。</p> <p>令和6年度は県外から期間限定で依頼された事案があり、短期間だが頻回の訪問が必要であったが事業所間で連携してサービス提供をすることができた。</p>	<p>P60 資料㉖</p>	<p>事業所間で連携してサービスを提供できた実績を活かし、今後も類似した事案を受け入れていく。</p>
<p>1件あたりが長時間の支援になってしまう課題はあるが、希望に沿えるように実施した。</p>	<p>P60 資料㉗</p>	<p>今後なるべく希望に沿って実施ができるように早めに要望を確認する等の対応を進めていく。</p>
<p>問い合わせがあった先には丁寧に対応し、実施につなげることができた。</p> <p>月に数日在宅に戻る方やコロナの感染拡大等の影響でショートステイを利用できなくなった方の単発の訪問等のニーズに対応した。</p>		<p>料金改定後件数は減っているが、サ責の持ち件数に影響もないため、積極的に受けていく。</p>
<p>視覚障害者に対して外出支援のサービスを提供したもの。買い物同行等、余暇活動の支援を実施した。</p>	<p>P60 資料㉘</p>	<p>相談支援専門員と連携し、今後も希望に沿った支援を実施していく。</p>
<p>3か所（鬼無里、大岡、中条）の高齢者生活支援施設の管理・運営を行った。</p>	<p>P60 資料㉙</p>	<p>昨年度と比較し、鬼無里は微増したが大岡・中条は減少した。</p> <p>事業は滞りなく、計画どおりに実施することができた。</p>
<p>2か所（戸隠栃原・戸隠豊岡）の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。</p>	<p>P61 資料㉚</p>	<p>戸隠栃原は昨年度と比較して微増、戸隠豊岡は微減。</p> <p>事業は滞りなく、計画どおりに実施することができた。</p>

(25)	地域包括支援センター事業	<p>介護・福祉・保健・医療に関する総合相談窓口として設置された機関。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどの専門職員を配置し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援する。地域課題について話し合う地域ネットワーク会議の開催を推進する。（安茂里・吉田・豊野地区）</p>
市受託 相連 サ		
(26)	在宅介護支援センター事業	<p>地域包括支援センターの行う業務を補って、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、福祉や保健などのサービスを提供するために地域内の関係機関との連絡調整を行う。（鬼無里・大岡地区）</p>
市受託 相連		

※1 LIFE

(Long-term care Information system For Evidence) の略  
「科学的介護情報システム」という意味で、科学的に効果が裏付けられた自立支援・重度化防止に資する質の高いサービス提供の推進を目的とし、厚生労働省ヘデータの提出とフィードバックの活用によって、PDCAサイクル・ケアの質の向上を図ること。

※2 アウトカム評価

利用者や患者の状態改善や目標達成度を数値化して評価すること。介護報酬や診療報酬の改定において、アウトカム評価は施設や事業所の実績を表す指標として導入されている。効果的なサービスの提供や質の向上につながると考えられている。

<p>総合相談、虐待・認知症対応等、随時民生委員や市関係機関、医療機関等と連携し以下の取組や支援を行った。</p> <p>1 介護者教室：各包括3回実施  吉田：人生会議（もしバナゲーム）、認知症サポーター講座、男性介護者の集い（料理教室）  豊野：人生会議（訪問看護師）、認知症施設、男性介護者の集い  安茂里：地域の医師の講演①（生活習慣病）、地域の医師の講演②（認知症）、男性介護者の集い</p> <p>2 地域ネットワーク会議の開催  吉田：「誰もが地域の誰かとつながるために」全体会議2回、コアメンバー会議3回  豊野：「認知症になっても暮らしやすい地域」1回、「豊野地区連携の会」3回  安茂里：「認知症になっても地域で暮らし続けるを支えるために第2弾」「何とかしたいをカタチにしたい」（地域の支え合い）  七二会：「みんなでやろう！地域づくり」  小田切：「やってみてえなあをカタチにしたい」</p> <p>3 ケアマネジャー連絡会開催  吉田：2回「認知症の人はなぜ怒るのか」「生活困窮者への支援」  豊野：2回「障害福祉サービス」「ヤングケアラー」  安茂里：2回「倫理」「重層的支援事例検討」</p> <p>4 地域に向けた取り組み  サロンへの出前講座、オレンジカフェの後方支援、地区懇談会への参加</p> <p>5 三包括会議を開催し、各事業に係る情報・意見交換を行った（概ね月1回）。</p>	<p>P61～ 資料④③</p>	<p>各包括共に委託されている事業は確実に実施できた。</p> <p>&lt;来年度に向けて&gt;  ・必須の委託事業は年度初めに計画し、できるだけ12月までに実施完了する。  ・地域ネットワーク会議は、前年度の話し合いの結果を踏まえて、次のステップに繋げていけるような企画をする。  ・各包括に配置されている認知症地域支援推進員が中心になって、北部地域の活動を広げていく。  ・包括間の情報交換を行なう事で、重層的支援や虐待ケース等への対応力向上を目指す。</p>
<p>それぞれの地区で総合相談や介護予防事業等を行ない、地域住民や福祉関係者等と連携して以下の取組や支援を行った。</p> <p>1 介護予防教室の開催  鬼無里：病院のPT・OTに依頼しシリーズで6回計画したが、集客に苦慮している。  大岡：9回計画。ご当地体操と組み合わせて企画した。集客には苦慮。</p> <p>2 介護者教室の開催  鬼無里：老福の企画と重なる部分もあり、集客が困難で計画・実施なし。移送手段の問題が考えられる。  大岡：開催できず。介護者が遠方に住むなどしている場合も多く、集客困難な状況。認知症サポーター講座は包括新町病院に依頼されるようになり、在介としては開催機会がなかった。</p> <p>3 実態把握事業  鬼無里：通所と兼務で配置された介護福祉士が精力的に実態把握に回り、サロンにも出向いて顔つなぎができた。  大岡：前半は職員2名で、後半は職員体制の変更によりパート職員が専ら実態把握を行った。</p>	<p>P63～ 資料④④</p>	<p>委託事業は実施努力はしたものの、集客が困難なため目標に届かない状況だった。</p> <p>&lt;来年度に向けて&gt;  ・実態把握はできるだけ実施し、支援が必要な住民の早期発見・支援に努める。  ・介護予防教室、介護者教室は集客に苦慮しているので、テーマや移送手段等に工夫が必要。</p>

## Ⅲ 付属明細書

### 1 法人全体で行うこと

#### 資料① No(1)会務の運営

##### (1) 理事会の開催

**【第1回理事会】** 令和6年6月4日(火) 午後2時

長野市ふれあい福祉センター5階ホール

議案第14号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告

議案第15号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

議案第16号 評議員選任・解任委員の補充選任について

議案第17号 評議員補充選任候補者の推薦について

議案第18号 補欠理事・監事の選任候補者について

議案第19号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会暮らしのあんしんサービス事業実施規程の一部を改正する規程

議案第20号 令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議案第21号 令和6年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

報告第5号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について

**【第2回理事会】** 令和6年7月1日(月) 午前10時

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

議案第22号 会長の選定について

議案第23号 第70回長野市社会福祉大会の開催について

報告第6号 補欠理事・監事の選任について

報告第7号 評議員の補充選任について

**【第3回理事会】** 令和6年8月16日(金)

決議の省略

議案第24号 補欠理事の選任候補者について

議案第25号 令和6年度第2回評議員会の開催について

**【第4回理事会】** 令和6年10月17日(木) 午前10時

長野市ふれあい福祉センター5階ホール

議案第26号 副会長の選定について

報告第8号 補欠理事の選任について

報告第9号 会長、常務理事の職務執行状況について

報告第10号 令和6年度上半期の事業進捗状況等について

**【第5回理事会】** 令和7年3月12日(水) 午後1時30分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

議案第1号 令和7年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 事業計画

- 議案第2号 令和7年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 予算
- 議案第3号 令和6年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 第一次補正予算
- 議案第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 就業規則の一部を改正する規則
- 議案第5号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 有期雇用職員就業規則の一部を改正する規則
- 議案第6号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 職員の給与規程の一部を改正する規程
- 議案第7号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 経理規程の一部を改正する規程
- 議案第8号 令和6年度第3回評議員会の招集について
- 報告第1号 会長、常務理事の職務執行状況について
- 報告第2号 令和6年度下半期の事業進捗状況等について
- 報告第3号 第三次長野市社会福祉協議会総合計画の中間評価について
- 報告第4号 令和7年度地域たすけあい事業利用料金改定について
- 報告第5号 令和7年度福祉のまちづくりを進めるための実践事業助成の改正について

## (2) 評議員会の開催

**【第1回評議員会(定時評議員会)】** 令和6年6月27日(木) 午前10時  
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第5号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告
- 議案第6号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算
- 議案第7号 補欠理事・監事の選任について
- 報告第3号 評議員選任・解任委員の補充選任について
- 報告第4号 評議員の補充選任について
- 報告第5号 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について

**【第2回評議員会】** 令和6年8月29日(木)  
決議の省略

議案第8号 補欠理事の選任について

**【第3回評議員会】** 令和7年3月21日(金) 午前9時30分  
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第1号 令和7年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 事業計画
- 議案第2号 令和7年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 予算
- 議案第3号 令和6年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会 第一次補正予算
- 報告第1号 会長の選定について
- 報告第2号 副会長の選定について
- 報告第3号 令和6年度の事業進捗状況等について
- 報告第4号 第三次長野市社会福祉協議会総合計画の中間評価について
- 報告第5号 令和7年度地域たすけあい事業利用料金改定について
- 報告第6号 令和7年度福祉のまちづくりを進めるための実践事業助成の改正について

## (3) 正副会長会の開催

**【第1回正副会長会】** 令和6年7月10日(火) 午前9時30分

長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

- 議 題 (1) 第70回長野市社会福祉大会 顕彰者の審査について  
(2) 第70回長野市社会福祉大会次第について  
(3) その他

#### (4) 評議員選任・解任委員会の開催

##### 【第1回評議員選任・解任委員会】

令和6年6月12日(水) 午後4時

長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

議案第1号 評議員の補充選任について

#### (5) 事業及び会計の監査

【令和5年度監査】 令和6年5月23日(木) 午前10時

令和6年5月24日(金) 午前10時

長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

- 監査対象 ア 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告及び業務執行状況  
イ 令和5年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

#### (6) 苦情解決第三者委員会の開催

##### 【令和6年度苦情解決第三者委員会】

令和6年10月9日(水) 午後1時

長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

- 報告事項 長野市社会福祉協議会 苦情対応に関する報告について  
※市民児協の理事会において時間を頂戴し、報告した。

### 資料② No(4)研修の実施・参加

#### (1) 法人全体の研修(3課共通)

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年4月1日(月)	法人の概要説明会 (社会福祉協議会と本会の概要について説明)	新規採用者(正規・嘱託・臨時の一部)	24人
令和6年4月12日から7月18日の間で計4回実施	新規採用職員研修プログラム	令和6年度新規採用の正規職員	18人
令和6年5月29日(水)	消防・災害座学研修	ふれあい福祉センター自衛消防隊員	35人
令和5年7月25日から10月23日の間で6回(いずれか1回参加)	安全運転管理者等講習 主催:安全運転管理者協会 (4か所で実施)	各事業所安全運転管理者及び副安全運転管理者(所長等)	15人
毎月(第二火曜日等実施)	メンタルヘルス個別研修 担当:日本産業カウンセラー協会 上信越支部長野事務所	全職員のうち希望者	延べ51人

## (2) 地域福祉課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年6月17日(月)	「身寄りのない方への支援のためのガイドライン」について	地域たすけあい事業コーディネーター	25人
令和6年8月7日(水)	全国福祉教育推進員研修	ボランティアセンター	1人
令和6年9月19日(金)	重層的支援体制整備事業について	地域たすけあい事業コーディネーター	25人
令和6年12月24日(木)	地域包括支援センターについて	地域たすけあい事業コーディネーター	25人
令和7年1月～2月	精神保健ボランティア養成講座(全4回)	ボランティアセンター	2人
令和7年3月12日(水)	令和6年度地域支援事業実施要綱改正に関する説明会	地域福祉担当	2人

## (3) 相談支援課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年4月26日(金)	令和6年度市町村社会福祉協議会相談事業新任担当職員研修	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	4人
令和6年5月7日(火)	令和6年度市町村社会福祉協議会相談事業新任担当職員研修	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	5人
令和6年5月9日(木)	信州パーソナル・サポート事業 テーマ別研修	まいさぼ長野市	5人
令和6年5月31日(金)	信州パーソナル・サポート事業 初任者研修	まいさぼ長野市	2人
令和6年6月12日(水)	全国権利擁護支援ネットワーク 北信越ブロック意見交換会	重層的支援体制整備事業担当	3人
令和6年6月21日(金)	日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業・長野市権利擁護センター令和6年度職員研修	日自・暮らし担当、権利擁護センター	33人
令和6年6月27日(木)	令和6年度JSCP・厚生労働省 合同研修会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年6月28日(金)	第174回令和6年度市町村職員等を 対象とするセミナー	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和6年7月12日(金)	令和6年度心配ごと相談所等 相談員研修	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和6年7月22日(月)	令和6年度第1回ひきこもり支援 実践研究会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年7月22日(月)	防災福祉アプリ共同活用ネット長野 「カンタンマップ」スタートアップ 研修	重層的支援体制整備事業担当 生活福祉資金担当	3人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年7月30日(火)	無料職業紹介講習	まいさぼ長野市	1人
令和6年8月6日(火)	相談支援専門員研修会	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和6年8月6日(火)	居宅介護支援事業所研修	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和6年8月6日(火)	ひきこもり支援関係者研修会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年8月6日(火)	外国人相談対応研修会	まいさぼ長野市	1人
令和6年8月29日(木)～ 令和6年8月31日(土)	コミュニティにおけるソーシャル ワーク力強化研修・長野 2024	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	3人
令和6年9月18日(水)	令和6年度ひきこもり支援に関する 研修会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年10月7日(月)	令和6年度第2回ひきこもり支援 実践研究会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年10月7日(月)	第2回社会福祉と動物愛護管理の 連携のための研修会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年10月18日(金)	令和6年度長野県内社会福祉協議会 職員基礎(新任)研修	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	2人
令和6年10月18日(金)	日常生活自立支援事業・暮らしのあ んしんサービス事業令和6年度生活 支援員研修会	日常生活自立支援事業・暮 らしのあんしんサービス事 業生活支援員	25人
令和6年10月24日(木)	令和6年度全国生活福祉資金貸付 事業運営研究協議会	生活福祉資金担当	1人
令和6年10月30日(水)	発達障害支援に関する庁内連絡会	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和6年11月11日(月)	令和6年度外国人対応研修会	まいさぼ長野市	2人
令和6年11月14日(木)	信州パーソナル・サポート事業 スキルアップ研修	まいさぼ長野市	1人
令和6年11月28日(木)	令和6年度外国人相談対応研修会	重層的支援体制整備事業担当 生活福祉資金担当	2人
令和6年12月4日(水)	令和6年度ギャンブル等依存症 研修会	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	2人
令和6年12月6日(金)	生活困窮者支援推進セミナー	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	2人
令和6年12月10日(火)	長野市障害ふくしネット	重層的支援体制整備事業担当	1人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年12月13日(金)	日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業・長野市権利擁護センター令和6年度職員研修	日自・暮らし担当、権利擁護センター	32人
令和6年12月18日(水)	日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業・長野市権利擁護センター令和6年度職員研修	日自・暮らし担当、権利擁護センター	12人
令和6年12月26日(木)	就労移行支援事業所ウェルビー株式会社説明会	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	7人
令和7年1月17日(金)	相談管理業務の効率化セミナー	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和7年1月20日(月)	令和6年度薬物依存研修会	まいさぼ長野市	1人
令和7年1月23日(木)	自殺対策支援者研修会	まいさぼ長野市	1人
令和7年1月27日(月)	精神障がい者就労支援研修研修	まいさぼ長野市	1人
令和7年1月28日(火)	令和6年度重層的支援体制整備事業従事者研修	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和7年2月3日(月)	ひきこもり家族教室	まいさぼ長野市	1人
令和7年2月12日(水)	生活困窮者自立支援制度支援ツール活用セミナー	まいさぼ長野市	1人
令和7年2月19日(水)	「地域」と「社会福祉法人」の連携を考えるセミナー	重層的支援体制整備事業担当	1人
令和7年2月26日(水)	2024年度居住支援地域連携強化研修会	重層的支援体制整備事業担当	2人
令和7年2月26日(金)	第3回社協職員オンラインサロン	生活福祉資金担当	1人
令和7年3月7日(金)	令和6年度ひきこもり支援者研修会	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	2人
令和7年3月10日(月)	身寄り問題を考えるセミナー	まいさぼ長野市	1人
令和7年3月12日(水)	令和6年度第3回ひきこもり支援実践研究会	重層的支援体制整備事業担当 まいさぼ長野市	2人
令和7年3月12日(水)	令和6年度第3回社会福祉と動物愛護管理の連携のための研修会	まいさぼ長野市	1人
令和7年3月14日(金)	令和6年度依存症地域ネットワーク研修会	まいさぼ長野市	1人
令和7年3月21日(金)	アドボネットながの+α研修会	相談支援課	15人

#### (4) 介護サービス課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年4月16日(火)	第1回新規採用職員研修	新規採用職員	20人
令和6年4月～	エルダーメンター研修 (採用後約3カ月)	新規採用職員(運転手を除く)	13人
毎月1回	山下総司アドバイザー 通所介護業務改善研修	通所介護員	—
毎月1回	広畑晶子アドバイザー 訪問介護業務改善研修	訪問介護員	—
年間研修計画に基づく	運営基準研修(概ね月1回)	各事業所	—
令和6年4月～	認知症介護基礎研修 (eラーニング)	介護・福祉等無資格介護職員	8人
令和6年5月～8月 (6日間)	認知症介護実践者研修	介護職員	1人
令和6年5月31日(金)	福祉職員生涯研修 新任管理者課程	新任所長	3人
令和6年6月5日(水) ～6日(木)	甲種防火管理講習	管理職	3人
令和6年6月・11月 (3日間)	応急手当普及員講習	介護職員	6名
令和6年6月11日(火)・ 7月31日(水)	OJTリーダー養成研修	主任	5人
令和6年7月5日(金)	応急手当普及員再講習	介護職員	2人
令和6年7月12日(金)・ 8月30日(金)	キャリアパス制度構築基礎研修	所長補佐・係長	3人
令和6年7月29日(月)	ヤングケアラー研修会	居宅・包括職員	52人
令和6年7月～9月 (6日間相当)	介護支援専門員法定研修 (オンライン+集合)	介護支援専門員	3人
令和6年8月7日(水)	苦情対応実践講座	苦情対応責任者	2人
令和6年9月 (5日間)	同行援護従事者養成研修	訪問介護職員	1人
令和6年9月10日(火)	第2回新規採用職員研修	新規採用職員	8人
令和6年9月～11月 (12日間相当)	主任介護支援専門員研修 (オンライン+集合)	介護支援専門員	1人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和6年10月~12月 (8日間相当)	主任介護支援専門員更新研修 (オンライン+集合)	主任介護支援専門員	3人
令和6年10月~11月 (全7会場)	接遇研修	介護サービス課全職員	353人
令和6年11月1日(金) ~3日(日)	日本通所ケア研究大会・認知症ケア研 修会	通所介護員	2人
令和6年11月23日(土)	介護・看護・リハ職向けセミナー	機能訓練指導員	1人
令和6年12月13日(金)・ 令和7年1月31日(金)	新人育成担当者研修	入職後3年以上の職員	3人
令和7年1月16日(木) ~17日(金)	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程	介護職員	2人
令和7年1月30日(木) ~31日(金)	認知症対応型サービス事業 管理者研修	介護職員	1人
令和7年1月17日(金)	長野県社会福祉施設広報研修	介護サービス課職員	4人
令和7年2月6日(木) ~7日(金)	福祉職員生涯研修 中堅職員過程	入職後3~7年の職員	3人
令和7年2月7日(金)	居宅・包括全体研修会	居宅職員及び包括職員	48人
令和7年2月22日(土)	尊厳保持と自立支援のケアで行う基 本技術(日本通所ケア研究会)	看護職員	1人
令和7年2月23日(日)	リハ技術とコツセミナー (日本通所ケア研究会)	介護員	1人
令和7年3月7日(金)	L I F E 関連研修会 (国立長寿医療研究センター)	機能訓練指導員	1人

### 資料③ No(6)県内社協職員災害初動時先遣チーム(DSAT等)への参加

#### 1 メンバー

- (1) 正規メンバー 小野貴規
- (2) 交代メンバー 松岡伸樹、村田智徳

#### 2 被災地への派遣実績(DSAT以外の実績も含む)

なし

#### 3 DSAT運営委員会(すべてオンライン併用会議)

月日	活動等の内容	参加者
令和6年4月18日(木)	第1回運営委員会 運営体制、事業計画、令和6年能登半島地震の対応 等	1名
令和6年6月6日(木)	第2回運営委員会 運営体制、DSAT設置要綱の見直し 等	1名

月日	活動等の内容	参加者
令和6年12月18日(水)	第3回運営委員会 D S A T設置要綱の改訂、能登半島災害支援の対応 当	1名

#### 4 研修、その他会議等

月日	活動等の内容	参加者
令和6年5月22日(水)	令和6年度D S A T基礎研修 令和6年能登半島地震支援を振り返り、運営を学ぶ ※D S A T運営委員として参加	1名

#### 資料④ (その他) 苦情受付件数

苦 情 の 内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員の接遇（態度）に関する事	9	5	14
運転（駐車）に関する事	7	9	4
提供しているサービスに関する事	11	6	5
施設（設備・利用）に関する事	0	0	0
その他	2	2	0
合 計	29	22	23

## 2 総務課（総務担当）

#### 資料⑤ No(1)長野市社会福祉大会の開催

- (1) 期 日 令和6年8月24日(水)  
(2) 会 場 長野市芸術館B2F リサイタルホール  
(3) 参加者数 120名(うち被表彰者28名)  
(4) 内 容 等

※第70回目の節目となる大会として会場をふれあい福祉センターから長野市芸術館リサイタルホールに移し、過去の大会をふりかえるパネル展示も行った。

##### ①式典 14:00~16:20

顕彰（社会福祉関係功労者等に対し、大会壇上において顕彰した。）

- ア 社会福祉功労者 31名
- イ 優良住民自治協議会等 2団体
- ウ 社会福祉事業協助者 26件
- エ 日本赤十字社関係（伝達） 16件
- オ 共同募金関係（伝達） 3件 計78件

##### ②講演

- 講師：料理研究家 山本 麗子 氏
- 演題：元気のおすそわけ

**資料⑥ No(2)ふれあい福祉センター管理経営事業実績**

(単位：件・人)

年度	件 数							延べ 利用者数
	会議室4-2	会議室4-3	会議室5-4	研修室	料理 実習室	ホール	合計	合計
R4	894	812	754	678	214	838	4,190	67,817
R5	821	739	751	667	283	840	4,101	74,880
R6	775	681	647	590	253	702	3,648	65,130

**資料⑦ No(3)寄付・賛助会費の募集**

1 賛助会員

年度 項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数	2人	2人	3人
会費合計(円)	25,000円	10,000円	20,000円

2 寄付者名簿（敬称略）

No.	月 日	金額（物品）	氏 名	住 所
1	R6.4.17	5,000	※利用者作成のエコバッグ取次所である店舗等に設置した募金箱への寄付（3店舗）	—
2	R6.4.17	1,000		
3	R6.4.17	800		
4	R6.4.30	25,000	匿名	—
5	R6.5.24	25,000	匿名	—
6	R6.5.28	25,000	匿名	—
7	R6.5.31	25,000	匿名	—
8	R6.6.3	20,000	長野モラロジー事務所	長野市平林
9	R6.6.7	25,000	匿名	—
10	R6.6.25	タオル 387 枚	生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会 長野県協会	長野市南石堂町
11	R6.6.28	25,000	匿名	—
12	R6.7.17	12,826,559	匿名	—
13	R6.7.26	車椅子 2 台	ピップ株式会社	東京都千代田区
14	R6.8.2	2,960	※利用者作成のエコバッグ取次所である店舗等に設置した募金箱への寄付（3店舗）	—
15	R6.8.2	900		
16	R6.8.2	6,000		

17	R6.9.10	Quo カード (3,000 円分)		匿名	—
18	R6.9.17	お米券 (400 枚×@440 円)		長野ガイア応援団 KID	長野市桐原
19	R6.10.2	車椅子 2 台		「小さな親切」運動 長野支部	長野市居町
20	R6.10.18	食糧		長野信用金庫 篠ノ井支店・川柳支店	長野市篠ノ井 布施高田
21	R6.10.24		2,500	匿名	—
22	R6.11.1		5,000	匿名	—
23	R6.11.15	フェイスタオル 82 枚		ながの梅の実会 (退職女性校長会)	須坂市日滝
24	R6.11.19		6,600	長野地域退職者連合 会長 返町洋三	長野市吉田
25	R6.11.27		6,209	NTT 労組退職者の会長野地区協議会 代表 小山由美	長野市新田町
26	R6.12.4		500,000	宗教法人真如苑	長野市吉田
27	R6.12.6		2,150	※利用者作成のエコバッグ取次所 ある店舗等に設置した募金箱への寄 付 (3 店舗)	—
28	R6.12.6		900		
29	R6.12.6		7,000		
30	R6.12.10		8,000	長野市ママさんバレーボールクラブ	長野市西尾張部
31	R6.12.16		70,000	長野市ママさんバレーボール連盟	長野市吉田
32	R6.12.18	ポータブルトイレ用紙パック		匿名	—
33	R6.12.20	介護用おむつ他		匿名	—
34	R7.1.8		2,000	D r e a m O a s i s 創造之泉	長野市新田町
35	R7.2.5	車椅子		匿名	—
36	R7.2.13		100,000	中村 袈裟亀	長野市篠ノ井 横田
37	R7.2.28		14,000	匿名	—
38	R7.2.28		20,650	匿名	—
39	R7.3.7	タオル 72 枚		匿名	—
40	R7.3.17		50,000	匿名	—
41	R7.3.18		6,000	※利用者作成のエコバッグ取次所 ある店舗等に設置した募金箱への寄 付 (3 店舗)	—
42	R7.3.18		900		
43	R7.3.18		594		
44	R7.3.31		33,059	両京寿会	長野市鬼無里
合計件数(金額)					14,413,781

うち現金受付（円）	13,848,781
うち物品受付（時価換算）	565,000

### 3 総務課（団体担当）

#### 資料⑧ 事務受託団体一覧（9団体）

No.	団体名	代表者		会員・構成
1	長野市民生委員児童委員協議会	会長	中澤敏子	879人
2	長野市遺族会	会長	相澤洋男	1,017人
3	日本赤十字社長野県支部長野市地区	地区長	荻原健司	—
4	長野県共同募金会長長野市共同募金委員会	会長	西沢利一	—
5	長野市赤十字奉仕団	委員長	西正夫	1,760人
6	長野市手をつなぐ育成会	会長	丸山香里	229人
7	長野地区保護司会	会長	千野裕文	154人
8	長野地区更生保護女性会	会長	奥野としみ	827人
9	長野圏域介護保険事業者連絡協議会	会長	西島勉	92事業者

※令和7年3月31日現在

#### 資料⑨ No(1)社会を明るくする運動推進事業実績

##### 1 各地区助成状況一覧

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会等発表	PR他	住民集会参加者数	地区推進委員会
第一									
第二	2		7/19				7/19	25	6/21
第三	2						6/12 7/12 9/12	90	6/7
第四									
第五									
芹田	2		7/20					120	6/12
古牧	2		7/20					61	5/17
三輪									
吉田									
古里	2		7/6					81	6/27
柳原	2		7/13					30	4/26 6/21
浅川	2		7/27					81	6/17
大豆島	2		7/6					70	6/1

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会等発表	PR他	住民集会参加者数	地区推進委員会
朝陽									
若槻	2		7/13					116	5/24 6/7, 27 7/12
長沼	2						リーフレット 全戸配布		6/13
安茂里									
小田切	1								6/3
芋井									
篠ノ井	2		9/14, 27 11/9, 15 2/11, 16				7/11	356	6/21
松代	2		7/20					90	6/8, 22
若穂	2		7/6			7/6		100	5/30
川中島	1								6/19
更北	1								7/4
七二会	2		12/12					35	5/10
信更	2		12/7					59	6/19
豊野	2		11/30					100	9/18
戸隠	1								7/18
鬼無里									
大岡	2		7/18					23	7/4
信州新町	1								6/25
中条	1								6/25
合計	23地区 40回	0地区	15地区	0地区	0地区	1地区	4地区	1,437人	23地区 28回
(参考) R5年度	23地区 40回	1地区	14地区	3地区	0地区	1地区	7地区	1,236人	23地区 26回

※地区推進委員会1回につき5,000円、地区住民集会1回につき15,000円以内を助成した。

## 2 広報活動の実施

- (1) 有線放送、各地区での広報活動等、周知を図るための活動を行った。
- (2) 挨拶ポスター1,200枚を各行政区、学校関係(小・中・高・特殊諸学校)、市役所、市社協、児童館に配布した。

**資料⑩ No(2)災害見舞金事業実績**

(金額：円)

種別	区分		件数	市社協 @10,000	県共募 @10,000 (@5,000)	日赤 県支部 @10,000	合計
住宅 罹災	火災	全焼	8	80,000	80,000	毛布(3枚)	160,000
		半焼					
		集合住宅					
	災害	全壊					
		半壊					
		床上浸水					
小計		11	8	80,000	80,000	毛布(3枚)	
事故 死等	交通事故						
	その他事故		3	30,000			30,000
	火災死亡		3	30,000	30,000	30,000	90,000
	小計		6	60,000	30,000	30,000	120,000
合計			14	140,000	110,000	30,000	280,000
(参考) 令和5年度			18	180,000	150,000	40,000	370,000

※県共同募金会の見舞金( )内は、下宿・寄宿舍・病院等で罹災の場合に適用します。

**資料⑪ No(4)日赤活動資金募集事業実績**

項目	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標額		57,190,000円	57,324,000円
実績額		45,384,527円	44,111,081円	42,183,137円
達成率		79.4%	77.0%	78.1%

**資料⑫ No(5)共同募金運動協力事業実績**

項目	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標額		56,591,000円	54,767,000円
実績額		51,722,746円	50,475,309円	49,103,719円
達成率		91.4%	92.2%	93.3%

**資料⑬ No(6)共同募金配分金事業実績**

前年度の募金実績に基づいて各区分への配分を行った。

(募金年度：令和5年度、予算執行年度：令和6年度)

当初の計画		実績に基づく配分	
募金目標	54,767,000円	募金実績	50,475,309円
県への配分	24,036,000円	県への配分	24,036,000円
市への配分	30,731,000円	市への配分	26,439,309円

#### 4 地域福祉課（地域福祉担当）

#### 資料⑭ No(2)福祉のまちづくりを進めるための実践事業及び小地域福祉懇談会助成事業実績

事業名	実施数	助成金額
(1)福祉のまちづくり啓発事業	25 地区	619,000 円
(2)地域福祉懇談会事業	23 地区	455,857 円
(3)介護者支援事業	19 地区	325,544 円
(4)福祉推進員活動事業	26 地区	596,203 円
(5)男性地域デビュー促進事業	20 地区	375,000 円
(6)きぼうの旅事業	6 地区	241,500 円
(7)サロン事業	540 グループ	5,562,109 円
(8)福祉自動車運行事業	25 地区、2 団体	7,500,000 円
(9)子育て・子育て支援事業	20 地区	855,919 円
(10)地区独自課題対応事業	29 地区	1,965,719 円
	計	18,496,851 円

#### 資料⑮ No(5)地域たすけあい事業実績

(単位：件・人)

年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
項 目				
サービス総実施件数		33,204 件	39,365 件	39,371 件
内 訳	家事援助サービス	6,022 件	5,733 件	5,401 件
	福祉移送サービス	27,182 件	33,632 件	33,970 件
利用会員数		2,430 人	2,818 人	2,497 人
協力会員数		601 人	663 人	607 人

#### 資料⑯ No(9)老人福祉センター等管理経営事業等の実施実績

##### 1 高齢者生きがいづくり事業及びボランティアコーディネート事業実績

項 目 施 設	年 間 件 数					年間利用者数(人)		
	教養・生きがいづくり講座	地域福祉活動	グループ・団体活動	その他の事業	計	令和4年度	令和5年度	令和6年度
三 陽	222	155	649	551	1,577	9,727	12,619	13,674
安茂里	240	132	422	50	844	6,756	9,312	7,962
氷 鮑	228	38	822	944	2,032	12,970	14,234	15,022
鬼無里	70	34	65	248	417	2,047	2,740	2,313
信州新町	263	43	175	46	527	3,423	3,498	2,441
中 条	81	100	53	205	439	1,470	2,023	2,074
合 計	1,104	502	2,186	2,044	5,836	36,393	44,426	43,486

※延べ実施回数及び人数

## 2 氷鉋老人憩の家利用実績

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	4,366	5,055	5,844

※延べ人数

## 5 地域福祉課（ボランティア担当）

### 資料⑰ No(2)ボランティアコーディネート事業実績

#### 1 件数

項目	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談・調整件数		7,042	14,330	13,317

#### 2 内訳

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
調 整 件 数	ボランティアしたい	113	92	96
	ボランティア求む	44	93	90
	情報求む	59	139	165
	ボランティア活動支援	57	95	88
	ボランティア活動上の悩み	4	11	12
	よろず相談・悩み	38	21	13
	ボランティア保険・事故処理	15	16	14
	ボランティアセンター事業	74	126	108
	福祉共育	39	50	41
	ボランティア活動要請	26	40	41
	寄付関係	52	18	19
	その他	44	10	1
	計	565	711	779
簡 易 相 談 件 数	情報提供	307	2,097	2,213
	チラシ・掲示	220	352	238
	機材貸出	422	1,072	813
	会議室予約	1,345	2,830	2,270
	伝言	390	1,487	1,335
	よりいい会	2,040	1,994	1,718
	その他	1,753	3,787	3,951
	計	6,477	13,619	12,538
合 計	7,042	14,330	13,317	

**資料⑱ No(3)ボランティア活動機材の貸し出し事業実績**

機材名	件数	機材名	件数	機材名	件数
車椅子	177件 (308台)	アイマスク	18件 (735枚)	白杖	23件 (482本)
点字板	7件 (132枚)	コピー機	492件	印刷機	418件

**資料⑲ No(5)ボランティア・地域づくり講座の開催事業実績**

	日時・会場	テーマ・内容	講師	参加者
1	9月25日(水) 13:30~15:00 ふれあい福祉センター	「その気になっちゃう」チラシの作り 方	倉石 浩行 氏 天地舎	32人
2	11月28日(木) 13:30~16:00 ふれあい福祉センター	会議の回し方、運営の仕方	西澤 智美 氏 長野県社会福祉協議会	34人
3	1月18日(土) 13:00~16:00 ふれあい福祉センター	等話で風通しのいい会議を開こう	松田 道雄 氏 尚綱学院大学	37人

**6 相談支援課（長野市権利擁護センター）**

**資料⑳ No(1)日常生活自立支援事業実績**

1 実績

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	本 部	29,637	20,814	17,706
	みなみ出張所	9,625	9,977	9,403
	合計	39,262	30,791	27,109
契約件数	本 部	13	17	5
	みなみ出張所	9	6	1
	合計	22	23	6
事業開始からの延べ契約件数 ※		551	574	580

※平成11年10月より事業開始

2 契約件数内訳

対象区分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
認知症	6	10	33	4	8	29	4	5	28
知的障害	7	5	85	6	6	85	0	4	81
精神障害	9	3	81	12	10	83	2	12	73
その他	0	0	0	1	0	1	0	0	1
合 計	22	18	199	23	24	198	6	20	183

**資料② No(2)暮らしのあんしんサービス事業実績**

1 相談件数

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	3,060	3,716	6,974

2 契約件数内訳

契約内容	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
金銭管理	17	10	38	26	10	54	30	13	71
財産保全	2	3	5	1	0	6	7	0	13
合 計	19	13	43	27	10	60	37	13	84

**資料③ No(3)長野市権利擁護センター事業実績**

1 長野市成年後見支援センター相談対応件数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	2,542	2,279	2,403	2,482	2,068

**資料④ No(4)法人後見担当室 法人後見受任件数**

		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		新規	終了	累計	新規	終了	累計	新規	終了	累計
法定	後見	9	9	68	12	13	67	9	12	64
	保佐	4	6	29	3	2	30	3	1	32
	補助	0	2	14	2	0	16	4	3	17
	計	13	17	111	17	15	113	16	16	113
任意後見		3	0	13	6	2	17	0	2	15
合 計		16	17	124	23	17	130	16	18	128

**資料⑤ No(5)「おひとりさま」あんしんサポート相談室相談対応件数**

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	1,392	1,392	2,281

7 相談支援課（長野市生活就労支援センター）

**資料⑥ No(1)長野市生活就労支援センター「まいさぼ長野市」運営事業**

1 自立相談支援事業

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数（延べ）	16,248	17,754	18,758
相談者数（実数）	2,053	2,205	2,135
新規相談者数（実数）	1,195	1,256	986

就労者数（延べ）	141	141	113
増収者数（延べ）	39	51	61

## 2 家計改善支援事業

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数（延べ）	2,234	1,317	1,758
新規相談者数（実数）	34	23	164
事業利用件数（延べ）	43	31	28

※事業利用件数＝プラン作成件数

## 3 就労訓練支援事業

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談・助言・開拓等件数（延べ）	703	872	839
認定就労訓練事業所新規登録件数（実数）	3	5	4
就労訓練支援事業利用件数（延べ）	4	5	10
就労準備支援事業利用件数（延べ）	1	1	1

※事業利用件数＝プラン作成件数

## 4 アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数（延べ）	1,183	1,818	2,110
相談者数（実数）	86	106	95
新規相談者数（実数）	59	66	43

## 5 社協内「フードドライブ（食糧支援）」

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄付件数（延べ）	352	393	294
提供件数（延べ）	647	717	720

○フードドライブ活動団体連絡会議に参画、年3回期間を定め集中募集を実施

## 6 長野県あんしん未来創造センター事業（包括的相談支援/生活支援/就労支援プロジェクト） （旧長野県あんしん創造ねっと/令和4年10月より名称変更）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入居保証・生活支援事業利用件数（公営住宅）※	38	0	0
入居保証・生活支援事業利用件数（民間賃貸住宅）	10	15	9

身元保証・就労支援事業利用件数	0	3	1
生活改善利用件数	6	11	17
就労支援利用件数	6	10	3

※令和5年度から長野市内の公営住宅の保証人要件が撤廃されているため実績なし

## 資料② No(2)生活福祉資金貸付事業実績

### 1 生活福祉資金貸付事業実績

(金額：円)

資金種別	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
相談件数(延べ)	2,266		1,374		1,230	
総合支援資金	77	37,310,000	1	480,000	0	0
福祉資金	142	25,783,000	12	1,942,000	14	1,282,000
教育支援資金	7	3,073,000	6	4,233,000	5	2,819,000
不動産担保型生活資金	1	12,579,000	0	0	1	8,992,900
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0		0
合 計	227	78,745,000	19	6,655,000	20	13,093,900

### 2 助け合い資金貸付事業実績

(金額：円)

年度	貸付額		前期末未償還額		当期償還金額		不納欠損処理額		未償還残額	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
平成13年度	1	50,000	1	39,500	1	2,000	0	0	1	37,500
平成14年度 ～26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	50,000	1	39,500	1	2,000	0	0	1	37,500

※生活福祉資金貸付事業の対象要件が緩和・拡大されたことにより、平成27年度以降貸付停止

## 資料③ No(3), (4) きぼう相談事業及び法律相談事業実績

### 1 相談件数

実 施 状 況			年 度		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
きぼう相談	一般相談	本部 毎週 火・金曜日 9:00～16:00	1,567	1,479	1,469
	一般相談	篠ノ井 毎週 月曜日 9:00～16:00	383	485	380
	合 計		1,897	1,964	1,849
専門相談	法律相談	本部 毎月 第3金曜日 13:00～15:00	45	45	43

## 2 きぼう相談内容内訳

内容	暮らし・ 住まい	健康	人間関係	法律	紹介・ 問合せ	よろず	相談所への 問合せ等	その他	合計
令和4年度	55	103	135	51	45	1,375	165	21	1,950
令和5年度	50	73	98	50	32	1,499	141	21	1,964
令和6年度	40	27	77	47	46	1,470	120	22	1,849

### 資料⑳ No(5)ふれあいデイケア事業活動実績

項目	ちぎり絵	書道	居場所
活動日数	23	47	24
参加人数(延べ)	23	120	56

※煎茶、さをり織デイケアについては、新型コロナウイルス感染症の影響等により休止中  
○行事等 熊野書道作品展(6月、1月)、市民書道展(11月)

### 資料㉑ No(6)緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業実績

項目	令和5年度	令和6年度
相談者数(実数)	233	379
相談件数(延べ) ※内訳は以下のとおり	1,745	2,296
電話・メール相談	937	1,040
訪問・同行支援	82	126
面談	248	268
他機関との会議及び電話照会・協議	388	686
その他	90	176

※実績について、まいさば長野市・生活福祉資金の担当者が対応したものを含む

## 8 相談支援課(重層的支援体制整備担当)

### 資料㉒ No(1)重層的支援体制整備事業(多機関協働事業)(令和6年度新規事業)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数(のべ)	2,286	2,658	1,759
(上記のうち他機関との会議及び電話照会・協議)	1,201	1,350	1,508
相談件数(実数)	406	382	131
新規相談件数(実数)	96	81	131
プラン作成件数	-	-	22
連携した機関数(延べ)	579	667	1,237

※令和4年度、令和5年度については移行準備事業の実績

**資料③ No(2)重層的支援体制整備事業（アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業）**

（令和6年度新規事業）

1 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数(のべ)	-	-	1,577
（上記のうち対象者への電話、メール、面談、訪問、同行支援）	-	-	221
（上記のうち他機関との会議及び電話照会・協議）			1,356
相談件数(実数)	-	-	74
新規相談件数(実数)	-	-	74
プラン作成件数	-	-	8
連携した機関数(延べ)	-	-	858

2 参加支援事業

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数(のべ)	-	-	667
（上記のうち対象者への電話、メール、面談、訪問、同行支援）	-	-	190
（上記のうち他機関との会議及び電話照会・協議）			477
相談件数(実数)	-	-	101
新規相談件数(実数)	-	-	101
プラン作成件数	-	-	11
連携した機関数(延べ)	-	-	571

9 介護サービス課

**資料④ No(12)居宅介護支援事業実績**

1 体制

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備考
ふれあい介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	6	6	外兼務1人、特事
三陽介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	2	特事
吉田介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	3	特事
安茂里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	8	6	特事
篠ノ井介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	4	4	特事
豊野介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	3	外兼務1人、特事
鬼無里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務1人
大岡介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務1人

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備考
中条介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	3	特事
合計	36 (36)	29(29)	

※ ( ) 内数字は、令和5年度

※常勤職員数は令和7年3月31日現在の人数（以下同様）

※備考欄「特事」は特定事業所

## 2 実績

事業所名	利用（居宅サービス計画作成）件数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ふれあい	2,272	2,324	2,389
三陽	1,081	1,054	1,170
吉田	1,806	1,965	2,023
安茂里	2,706	2,667	2,943
篠ノ井	1,700	1,557	1,454
豊野	1,400	1,458	1,557
鬼無里	1,048	955	786
大岡	572	541	546
中条	1,113	1,079	858
合計	13,698	13,600	13,726

## 3 要介護認定調査業務実績

事業所名	認定調査件数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ふれあい	0	12	8
三陽	0	4	3
吉田	0	8	3
安茂里	0	9	6
篠ノ井	0	6	3
豊野	0	4	3
鬼無里	0	2	1
大岡	0	2	0
中条	0	3	1
合計	0	50	28

### 資料③ No(12)介護予防支援業務の受託（介護給付）サービス事業実績

居宅介護支援事業所名	利用（介護予防サービス計画作成）件数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ふれあい	208	238	190
三陽	82	133	104
吉田	46	52	71

居宅介護支援事業所名	利用（介護予防サービス計画作成）件数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	257	341	395
篠ノ井	346	360	333
豊野	32	47	0
鬼無里	59	130	213
大岡	573	639	614
中条	326	288	310
合 計	1,929	2,228	2,228

### 資料③ No(13)訪問介護事業実績

#### 1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備 考
東長野介護サービスセンター 訪問介護事業所	7	10	特事
安茂里介護サービスセンター 訪問介護事業所	6	6	外兼務1人、特事
篠ノ井介護サービスセンター 訪問介護事業所	4	5	外兼務1人、特事
戸隠介護サービスセンター 訪問介護事業所	3	4	特事
戸隠介護サービスセンター 鬼無里サテライト訪問介護事業所	1	2	特事
信州新町介護サービスセンター 訪問介護事業所	3	5	特事
信州新町介護サービスセンター 中条サテライト訪問介護事業所	0	2	
合 計	24 (25)	34 (33)	

※（ ）内数字は、令和5年度

※備考欄「特事」は特定事業所

#### 2 訪問介護実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
東長野	672	8,065	670	8,525	582	9,184
安茂里	525	6,590	501	7,009	510	6,742
篠ノ井	269	3,366	232	2,792	249	2,043
戸 隠	489	8,223	421	8,226	363	6,617
信州新町	539	4,876	483	4,449	361	3,657
合 計	2,494	31,120	2,307	31,001	2,065	28,243

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

### 3 介護予防訪問介護相当サービス実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	406	2,140	—	—	—	—
東長野	—	—	465	2,477	409	2,243
安茂里	214	985	249	1,050	270	1,133
篠ノ井	138	874	141	754	114	548
戸隠	83	483	87	539	89	512
信州新町	138	660	145	627	230	1,024
合計	979	5,142	1,087	5,447	1,112	5,460

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※ふれあいは令和5年4月1日に東長野と統合したため、令和5年3月31日までの実績。

### 4 長野市育児支援訪問員派遣業務実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
東長野	—	—	—	—	1	33
合計	—	—	—	—	1	33

※令和6年4月1日に受託開始

## 資料35 No(14)通所介護事業実績

### 1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
三陽介護サービスセンター 通所介護事業所	6	5	外兼務4人
柳町介護サービスセンター 通所介護事業所	7	6	外兼務5人
吉田介護サービスセンター 通所介護事業所	6	6	外兼務1人
安茂里介護サービスセンター 通所介護事業所	9	7	外兼務2人
篠ノ井介護サービスセンター 通所介護事業所	8	7	外兼務1人
氷鉋介護サービスセンター 通所介護事業所	6	5	外兼務1人
戸隠介護サービスセンター 通所介護事業所	2	6	外兼務3人
鬼無里介護サービスセンター 通所介護事業所	3	5	外兼務5人
中条介護サービスセンター 通所介護事業所	3	7	外兼務5人
中条介護サービスセンター 大岡サテライト通所介護事業所	0	3	
合計	50 (49)	57 (59)	

※( )内数字は、令和5年度

## 2 通所介護事業実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三陽	—	—	83	660	557	4,454
柳町	1,001	8,013	1,087	8,915	1,065	8,587
吉田	879	7,949	900	8,596	830	7,352
安茂里	1,432	10,494	1,204	8,841	1,204	9,279
篠ノ井	966	7,179	927	7,329	1,008	7,909
氷鮑	658	5,174	668	5,415	698	5,794
中条	836	5,359	733	4,831	624	3,968
合計	5,772	44,168	5,602	44,587	5,986	47,343

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※令和6年2月に三陽は通常規模へ移行。

## 3 地域密着型通所介護実績

施設名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三陽	552	4,513	451	3,614	—	—
戸隠	414	3,911	345	3,377	342	3,560
鬼無里	546	3,796	479	3,168	384	2,570
合計	1,512	12,220	1,275	10,159	726	6,130

※三陽は令和6年2月に通常規模へ移行したため、令和6年1月までの実績。

## 4 介護予防通所介護相当サービス実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三陽	66	378	55	287	99	509
柳町	415	1,978	420	2,090	384	1,979
吉田	250	1,479	239	1,439	230	1,455
安茂里	340	1,746	313	1,675	317	1,729
篠ノ井	446	2,339	475	2,377	468	2,358
氷鮑	358	1,721	433	2,107	323	1,702
戸隠	14	56	41	188	58	270
鬼無里	53	227	105	467	157	736
中条	573	2,534	562	2,439	530	2,314
合計	2,515	12,458	2,643	13,069	2,566	13,052

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

**資料③⑥ No(15)短期入所生活介護事業実績**

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里介護サービスセンター やすらぎ	9	2	1	外兼務5人
大岡介護サービスセンター ことぶき荘	9	5	1	
合計	18 (17)	7 (5)	2 (2)	

※ ( ) 内数字は、令和5年度

2 短期入所生活介護実績

施設名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	214	2,973	200	2,474	168	2,636
大岡ことぶき荘	221	2,769	194	2,501	142	1,990
合計	435	5,742	394	4,975	310	4,626

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

3 介護予防短期入所生活介護実績

施設名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	0	0	1	4	7	65
大岡ことぶき荘	3	7	18	83	5	65
合計	3	7	19	87	12	130

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

**資料③⑦ No(16)認知症対応型共同生活介護事業実績**

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	備考
鬼無里介護サービスセンター なかよしハウス	6 (6)	1 (1)	

※ ( ) 内数字は、令和5年度

2 実績

施設名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里なかよしハウス	75	2,081	72	2,126	69	2,030

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

**資料③⑧ No(17)訪問看護事業実績**

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数
戸隠介護サービスセンター 訪問看護事業所	2 ( 2 )	2 ( 2 )

※ ( ) 内数字は、令和5年度

2 実績

事業所名		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
戸隠介護サービスセンター 訪問看護事業所		利用 人数	利用 回数	利用 人数	利用 回数	利用 人数	利用 回数
サー ビス	訪問看護	316	1,450	287	1,197	277	1,333
	介護予防訪問看護	13	88	3	4	18	33
	訪問看護療養	49	296	68	387	63	412

**資料③** No(18)、(19)、(20) 障がい福祉サービス事業実績

居宅介護・重度訪問介護・同行援護サービス実績

事業所名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
東長野	558	4,774	622	5,008	533	4,169
安茂里	145	1,946	152	1,837	157	1,783
篠ノ井	340	2,509	412	3,430	411	4,072
戸隠	147	1,763	147	1,811	169	2,285
信州新町	102	1,917	90	1,423	104	1,504
合計	1,292	12,909	1,423	13,509	1,374	13,813

※利用人数は、3つのサービスにおける月毎の実利用人数合算数値。

**資料④** No(22)長野市移動支援サービス事業実績

移動支援サービス	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
	65	373	84	399	89	309

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

**資料⑤** No(23)高齢者生活福祉センター受託事業実績

施設名	定員	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
鬼無里高齢者生活福祉センター (通称：やすらぎ)	19人	実利用人数	10	11	10
		月平均利用人数	8.3	8.1	8.8
		延べ利用日数	2,899	2,772	3,144
大岡高齢者生活福祉センター (通称：ことぶき荘)	9人	実利用人数	5	5	3
		月平均利用人数	4.1	3.3	2.2
		延べ利用日数	1,451	1,100	665
中条高齢者生活福祉センター	6人	実利用人数	7	6	9

施設名	定員	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(通称：いこいハウス)		月平均利用人数	5.3	5.7	5.8
		延べ利用日数	1,701	1,751	1,598

**資料④ No(24)高齢者共同生活支援施設受託事業実績**

施設名	定員	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸隠栃原高齢者共同生活支援施設 (通称：ひまわり1号)	6人	実利用人数	6	6	5
		月平均利用人数	2.3	1.8	1.8
		延べ利用日数	674	576	598
		食事提供食数	1,874	1,542	1,672
戸隠豊岡高齢者共同生活支援施設 (通称：ひまわり2号)	8人	実利用人数	12	11	13
		月平均利用人数	3.9	3.4	3.5
		延べ利用日数	1,236	1,034	1,020
		食事提供食数	3,468	2,888	2,818

**資料④ No(25)地域包括支援センター（指定介護予防支援事業、包括的支援事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業）実績**

1 体制

事業所名	常勤職員数	職員内訳		車両台数
地域包括支援センター 安茂里	5 (5)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	3 [3]	3 (3)
		保健員（看護師）	1	
		社会福祉員（社会福祉士）	1	
地域包括支援センター 豊野サブセンター	3 (3)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	2 (2)
		保健員（看護師）	0	
		社会福祉員（社会福祉士）	1	
地域包括支援センター 吉田	4 (4)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	3 (3)
		保健員（看護師）	1	
		社会福祉員（社会福祉士）	1	

※（ ）内数字は、令和5年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	2,624	3,265	2,018
豊野サブ	682	670	1,027
吉田	2,005	2,505	2,425
合計	5,311	6,440	5470

相談の内容

項目	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田
介護保険関係	1,841	400	1,520	2,762	539	1,852	1,503	718	1,708
その他在宅福祉サービス	1,212	133	257	752	64	175	400	114	330
医療に関すること	447	93	287	541	73	309	484	147	343
施設・住まいに関する こと	539	26	152	421	51	169	422	45	153
高齢者虐待	190	3	53	55	2	131	109	66	213
成年後見制度	90	11	5	43	6	63	21	12	68
消費者被害	2	0	2	1	1	17	5	1	0
苦情対応・調整	26	1	4	2	0	0	3	2	5
その他	1069	165	215	746	154	270	744	255	441
合計	5,416	832	2,495	5,323	890	2,986	3,691	1,360	3,261

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 介護予防把握人数

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	163	29	392
豊野サブ	75	8	27
吉田	22	150	67
合計	260	260	486

ウ 介護予防サービス計画書作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	1,356	1,315	1,398
豊野サブ	512	594	800
吉田	883	1,039	1,014
合計	2,751	2,948	3,212

エ 介護予防ケアマネジメント作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	1,316	1,236	1,279
豊野サブ	304	352	384
吉田	792	825	895
合計	2,412	2,413	2,558

オ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	8	21	16

豊野サブ	3	2	4
吉田	5	4	6
合 計	16	27	26

## カ 介護者教室

事業所名		令和4年度	令和5年度	令和6年度
安茂里	開催回数	3	3	3
	参加人数	29	59	97
豊野サブ	開催回数	3	3	3
	参加人数	32	38	47
吉田	開催回数	3	3	3
	参加人数	112	50	40
合計	開催回数	9	9	9
	参加人数	173	147	184

**資料④** No(26)在宅介護支援センター(在宅介護に関する総合相談事業、高齢者実態把握調査事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 事業実績

### 1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備 考
鬼無里在宅介護支援センター	3	1	兼務3人
大岡在宅介護支援センター	3	1	兼務2人
合 計	6 (6)	2 (2)	

※ ( ) 内数字は、令和5年度

### 2 実績

#### ア 相談件数

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
鬼無里	512	638	403
大岡	367	366	662
合 計	879	1,004	1,065

#### 相談の内容

項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡
介護保険関係	353	86	548	78	95	61
その他在宅福祉サービス	458	177	419	157	134	89
医療に関すること	202	265	399	158	47	172
施設・住まいに関すること	71	1	130	3	13	1
高齢者虐待	0	0	4	0	0	1
成年後見制度	1	0	1	0	0	0

項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡
消費者被害	0	1	1	0	0	3
苦情対応・調整	0	0	0	1	0	14
その他	336	266	177	178	463	577
合計	1,421	796	1,679	575	752	918

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

#### イ 高齢者実態把握件数

事業所名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
鬼無里	226	275	325
大岡	269	283	590
合計	495	558	915

#### ウ 介護者教室

事業所名		令和4年度	令和5年度	令和6年度
鬼無里	開催回数	3	1	0
	参加人数	48	13	0
大岡	開催回数	2	0	0
	参加人数	11	0	0
合計	開催回数	5	1	0
	参加人数	59	13	0

#### エ 介護予防教室

事業所名		令和4年度	令和5年度	令和6年度
鬼無里	開催回数	0	4	6
	参加人数	0	82	79
大岡	開催回数	7	7	9
	参加人数	62	84	108
合計	開催回数	7	11	15
	参加人数	62	166	187

#### 資料④ (その他)介護等実習生の受入事業実績

学校名等	延べ人数	学校名等	延べ人数
長野看護専門学校	34	信州スポーツ医療福祉専門学校	20
長野社会福祉専門学校	36	長野県社会福祉協議会	29
信濃の星	6		
合計			125(193)

※( )内数字は、令和5年度